

# 盛岡市総合計画実施計画

## — 平成27年度実績 —

### 目次

<b>1</b>	<b>まちづくりの取組</b>	<b>1</b>
	(1) 総括 .....	1
	(2) 施策別 .....	8
<b>2</b>	<b>戦略プロジェクト</b>	<b>69</b>
<b>3</b>	<b>計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業</b>	<b>75</b>
<b>4</b>	<b>平成27年度完了事業</b>	<b>77</b>
<b>5</b>	<b>自治体経営の取組</b>	<b>79</b>

## 1 まちづくりの取組

### (1) 総括

まちづくりの取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの基本目標のもと、29の施策の中に、90の小施策、約900の事業を位置づけ、毎年度改革改善しながら事業を進めています。

その中でも、各施策において、優先的かつ重点的に実施する事業を「主要事業」に位置づけて施策の推進を図っています。

また、施策の推進に当たっては、「まちづくり指標」として目標を定めて進捗を図っているほか、施策の取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として把握しながら進捗を図っています。

### ■ 主要事業の実績（基本目標別）

平成27年度は、158事業を主要事業に位置づけながら施策の推進を図り、主要事業の実績額は、全会計合計で 111,383百万円となりました。

内訳は下の表のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標	会計区分	計画額	実績額 (繰越含)
1 人がいきいきと暮らすまちづくり (62事業)	一般会計	36,326	36,258
	一般会計以外	57,210	58,030
2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (15事業)	一般会計	2,348	2,146
	一般会計以外	0	0
3 人を育み未来につなぐまちづくり (16事業)	一般会計	3,622	3,126
	一般会計以外	0	0
4 人が集い活力を生むまちづくり (65事業)	一般会計	9,642	8,253
	一般会計以外	5,588	3,569
計 (158事業)	一般会計	51,939	49,783
	一般会計以外	62,798	61,600
	計	114,737	111,383

- (備考) 1 計画額は、平成27年度当初予算額です。  
2 実績額は、平成28年度へ繰り越した予算も含めて整理しています。  
3 計画額、実績額とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。  
4 計画額及び実績額が 100万円未満の場合は、切り上げています。

## 基本目標1 人がいきいきと暮らすまちづくり（施策1～10）

盛岡に定住する人口を保ち、活力ある社会を築いていくため、若い世代や子育て世代が住みたい、住み続けたいと思うとともに、豊富な経験を持つ高齢者が社会のさまざまな分野で活躍できるまちづくりを進めました。

また、誰もが、心身ともに健やかで自分らしさを発揮しながら、人がつながり、互いに支え合う共生社会の中で、充実感を持っていきいきと安全に暮らすことのできるまちづくりを進めました。

### ■ 主要事業の実績（施策別）

（単位 百万円）

施策	会計区分	計画額	実績額 (繰越含)
1 地域福祉の推進	一般会計	160	160
	一般会計以外	8	11
2 子ども・子育て、若者への支援	一般会計	6,806	7,057
3 高齢者福祉の充実	一般会計	3,701	3,506
	一般会計以外	22,712	23,411
4 健康づくり・医療の充実	一般会計	6,592	6,723
	一般会計以外	34,490	34,608
5 障がい者福祉の充実	一般会計	5,694	6,024
6 生活困窮者への支援	一般会計	9,345	8,759
7 人権尊重・男女共同参画の推進	一般会計	5	5
8 安全・安心な暮らしの確保	一般会計	3,611	3,629
9 地域コミュニティの維持・活性化	一般会計	170	161
10 生活環境の保全	一般会計	241	234
計	一般会計	36,326	36,258
	一般会計以外	57,210	58,030

### ■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別（P 9～30）」に掲載しています。

#### 1 地域福祉の推進（P 9, 10）

ワークショップやフォーラムを開催し、地域福祉の担い手の育成を図ったほか、地域トータルケアシステムの構築に向け、モデル地区を対象に実態調査を実施し、的確なサービスを提供する仕組みづくりに取り組みました。

#### 2 子ども・子育て、若者への支援（P 11～13）

認可保育所や小規模保育園の新規開設相談、私立幼稚園の認定こども園への移行支援、定員の弾力化などに取り組み、待機児童の解消を図りました。

また、地域子育て支援センター事業やつどいの広場事業を実施したほか、各医療費給付事業、母子父子寡婦福祉資金貸付事業等の子育て支援サービスの周知を図り、子育てしやすい環境づくりを推進しました。

#### 3 高齢者福祉の充実（P 14, 15）

地域包括支援センターの増設による相談体制の充実、介護予防の推進や地域ケア会議などを通じた地域団体や民生委員等との協働により、地域ケア体制の構築を進めました。

#### 4 健康づくり・医療の充実（P16～18）

各種健診の受診勧奨，健康教育及び健康相談など，身近な地域での保健活動に努めました。

また，市医師会等と連携・協力し，各医療機関の持つ機能をより明確にし，役割分担と連携による医療提供体制の構築を進めました。

#### 5 障がい者福祉の充実（P19，20）

障がい者への理解と交流の促進，障がい者福祉サービスの充実に向けた各種事業を実施し，障がいのある人もない人も，相互に人格と個性を尊重しあう共生社会の実現を進めました。

#### 6 生活困窮者への支援（P21，22）

福祉事務所にハローワークの常設窓口を開設するなど，ハローワークとの連携を強化し，就労支援事業活用プログラムを充実させるとともに，稼働能力活用プログラム等を積極的に推進し，生活保護受給者を対象に経済的自立や社会参加を促進しました。

また，生活相談窓口「盛岡市くらしの相談支援室」を設置したほか，住居確保給付金の実施，就学相談や中学生に対する学習支援を行い，生活困窮者の自立の促進を図りました。

#### 7 人権尊重・男女共同参画の推進（P23，24）

平和や人権啓発の推進を図るとともに，男女共同参画意識の高揚に努めました。

また，配偶者暴力相談支援センターにおいては，DVに対する相談や支援を行いました。

#### 8 安全・安心な暮らしの確保（P25～27）

自然災害に備え，被害を軽減するため，防災・減災意識の高揚，自主防災組織の結成促進に取り組むとともに，河川や急傾斜地の整備を進めました。

また，空き家等対策として，盛岡市空き家等対策計画を策定するとともに，町内会・自治会との協働による実態調査を実施しました。

#### 9 地域コミュニティの維持・活性化（P28，29）

市民協働推進センターを設置するモデル事業を実施し，市民協働の推進を支援するとともに，コミュニティ推進地区に対して情報提供や活動助成を行いました。

#### 10 生活環境の保全（P30）

公害防止対策として，大気，水質，騒音，振動，臭気の測定・監視を行い，その結果を公表したほか，クリーンセンターの設備改修を行い，廃棄物が適切に処理されるよう努めました。

## 基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり (施策11~16)

盛岡を行き交う交流人口を増やし、にぎわいを創出していくため、雄大な自然や美しい景観、城下町の歴史、芸術文化、スポーツ、温かい人情など、盛岡の魅力を守り育てるとともに、まちづくりにいかし、盛岡らしさが光る、魅力あふれるまちづくりを進めました。

### ■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額 (繰越含)
11 歴史・文化の継承	一般会計	68	59
12 芸術文化の振興	一般会計	28	28
13 スポーツの推進	一般会計	2,224	2,044
14 「盛岡ブランド」の展開	一般会計	3	3
15 良好な景観の形成	一般会計	8	7
16 計画的な土地利用の推進	一般会計	17	6
計	一般会計	2,348	2,146
	一般会計以外	0	0

### ■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別 (P31~41)」に掲載しています。

#### 11 歴史、文化の継承 (P31, 32)

「志波城跡」の整備、「盛岡城跡」石垣の変位調査等を進め、史跡の保護に努めるとともに、発掘調査現場の積極的な公開などにより、保護活用への機運の醸成を図りました。

#### 12 芸術文化の振興 (P33)

コンサート、演劇、美術展などの芸術鑑賞や各種講座など、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、市民の発表機会の支援にも努め、芸術文化活動を推進しました。

#### 13 スポーツの推進 (P34, 35)

盛岡広域でのスポーツツーリズムの推進や、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に向けた施設整備などを戦略プロジェクトに位置付け、すべての市民がスポーツに親しみ、健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進しました。

#### 14 「盛岡ブランド」の展開 (P36, 37)

100種類のブランドポスターの作成などインパクトのある広告宣伝や、これまで盛岡ブランドに関する情報に触れる機会が少なかった方々へ新たなPRを行い、市民の間での盛岡ブランドの認知度の向上を図りました。

#### 15 良好な景観の形成 (P38, 39)

都市景観シンポジウムや都市景観賞を実施し、景観形成の啓発に努めたほか、屋外広告物の許可等を通じて、景観に配慮した快適で美しい街並みの形成を進めました。

#### 16 計画的な土地利用の推進 (P40, 41)

都市計画法に基づく区域区分等の見直しや開発許可制度等を通じ、総合的で計画的な土地利用を進めました。

### 基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり (施策17~20)

長い歴史とともに築いてきた文化や環境などを次世代に引き継ぐため、未来の盛岡を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちづくりを進めました。

また、環境への意識が高まる中、豊かな自然環境と快適な都市機能との調和が続く、持続可能なまちづくりを進めました。

#### ■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額 (繰越含)
17 子どもの教育の充実	一般会計	3,465	2,995
18 生涯学習の推進	一般会計	45	41
19 社会を担う人材の育成・支援	一般会計	17	16
20 地球環境の保全と自然との共生	一般会計	95	75
計	一般会計	3,622	3,126
	一般会計以外	0	0

#### ■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別 (P42~49)」に掲載しています。

##### 17 子どもの教育の充実 (P42~44)

教員の指導力向上のための取組みを行い、子どもの学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などによる豊かな心の育成を進めました。

また、関係機関と連携し、児童・青少年の健全育成に取り組んだほか、学校施設の建設工事や耐震補強工事による教育環境の整備を進めました。

##### 18 生涯学習の推進 (P45, 46)

学びの循環推進事業による市民の学習活動の支援や、中学生や青年を対象に、団体活動のリーダー養成を行いました。

##### 19 社会を担う人材の育成・支援 (P47)

ジョブカフェいわて、若者サポートステーション、新社会人就職定着支援等により、若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行いました。

##### 20 地球環境の保全と自然との共生 (P48, 49)

「盛岡市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度」や、公共施設への太陽光発電設備の設置により、再生可能エネルギー設備の導入を促進するとともに、「もりおかエネルギーパーク」や環境啓発イベントを通じて、環境意識の向上に努めました。

## 基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり (施策21~29)

人口減少、少子高齢社会の進行とともに、地方の衰退が懸念されている中であっても、活力を生み出し、拠点都市としての役割を十分に果たしていくため、産業の振興や中心市街地の活性化を図るとともに、高次の都市機能の集積を推進し、求心力のあるまちづくりを進めました。

また、国際化が進展する中で、世界に通用する優れた人材を育むとともに、多文化共生のまちづくりを進め、世界に開かれた、活力を生むまちづくりを進めました。

### ■ 主要事業の実績 (施策別)

(単位 百万円)

施策	会計区分	計画額	実績額 (繰越含)
21 農林業の振興	一般会計	644	528
22 商業・サービス業の振興	一般会計	48	48
	一般会計以外	1	1
23 工業の振興	一般会計	72	70
24 観光の振興	一般会計	162	143
25 雇用の創出	一般会計	134	148
26 都市基盤施設の維持・強化	一般会計	7,184	6,272
	一般会計以外	5,588	3,569
27 交通環境の構築	一般会計	1,372	1,022
28 国際化の推進	一般会計	20	18
29 都市間交流の促進	一般会計	5	4
計	一般会計	9,642	8,253
	一般会計以外	5,588	3,569

### ■ 主な取組

※ 詳細については、「(2) 施策別 (P50~68)」に掲載しています。

#### 21 農林業の振興 (P50~52)

短角牛、アロニア、行者ニンニクなどの地域特産物の生産及び消費の拡大を図ったほか、「市産材流通推進アクションプラン」に基づく市産材の利用拡大の推進、農林道などの農林業施設の維持管理に取り組みました。

#### 22 商業・サービス業の振興 (P53, 54)

関係団体と連携し、中心市街地の回遊性を向上させるための各種事業に取り組んだほか、地域カード (MORIO-Jカード) を活用した盛岡地域振興商品券発行事業を実施しました。

#### 23 工業の振興 (P55, 56)

市産学官連携研究センターを拠点に、入居企業の研究開発支援や大学等との共同研究の助成などを行い、産学官連携の強化を図るとともに、広域連携での起業家支援や、中小企業の経営安定化支援を行いました。

#### 24 観光の振興 (P57, 58)

盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コ等の祭り・イベントを実施したほか、MICE誘致への取組や観光プロモーション、市場調査などを戦略プロジェクトに位置づけ、重点的に振興を図りました。

## 25 雇用の創出（P59, 60）

「立地セミナー」の開催などにより、県と連携した企業誘致を推進するとともに、就職面接会や高校生向けの研修等の実施、企業に対する雇用拡大要請などにより、雇用対策を行いました。

## 26 都市基盤施設の維持・強化（P61～64）

道路や橋梁、上下水道について、計画的に整備・補修を行ったほか、市民要望を踏まえ、除雪路線を延長しました。

また、公園の整備やハンギングバスケットの設置により、都市の緑化を進めるとともに、土地区画整理事業、生活環境整備事業、再開発事業等により、良好な市街地環境の形成を推進しました。

## 27 交通環境の構築（P65, 66）

公共交通機関の利便性向上と利用促進のため、「まちなか・おでかけパス」や駅周辺の施設整備、幹線道路の整備などを実施しました。

## 28 国際化の推進（P67）

ビクトリア市との姉妹都市30周年記念事業や諸外国との各種交流事業を行い、国籍や文化の違いを超えた相互理解に対する市民意識の醸成を図りました。

また、国際リニアコライダーの建設実現を目指した活動として、市民向けの講演会を開催し、多くの市民へ周知しました。

## 29 都市間交流の促進（P68）

友好都市でのイベントなどを通じ、都市間の相互理解を促進したほか、盛岡広域圏を構成する市町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結するとともに、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し、広域連携に向けた取組を進めました。



(2) 施策別

施策別の見方

主な取組内容を掲載しています。

施策18 生涯学習の推進

市民が企画する生涯学習活動に市職員や大学教員等を講師として派遣するなど、学びの循環推進事業により、市民の学習活動の支援を行いました。  
また、・・・

主要事業の事業内容、実績を掲載しています。

- ・「新市」欄の「★」は、玉山村との合併時に策定した「盛岡市・玉山村新市建設計画」に記載されている主要事業です。
- ・「計画額」は、平成27年度当初予算額です。
- ・「実績額」は、平成28年度へ繰り越した予算も含めて整理しています。
- ・「計画額」「実績額」とも、四捨五入しているため、計と合致しない場合があります。
- ・「計画額」「実績額」が、100万円未満の場合は、切り上げています。

■ 主要事業の実績

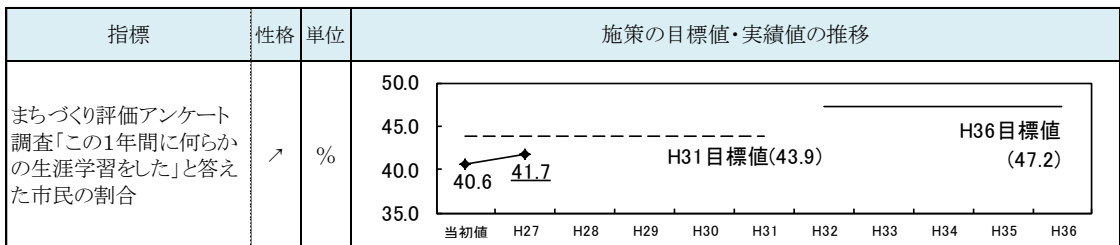
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
社会教育促進事業	一般	★	学校・家庭・地域連携推進事業、生涯学習推進事業、社会教育団体活動支援、成人のつどい式典実施など	17	16

まちづくり指標（成果指標）の状況を掲載しています。

- ・指標は、統計値やアンケート調査の結果に基づいています。
- ・「性格」欄の「↗」は数値を上げていくことを、「↘」は数値を下げていくことを、「→」は現状を維持していくことを目標としています。
- ・「当初値」は、基本的に平成25年度の実績値を用いています。

■ まちづくり指標（成果指標）の状況

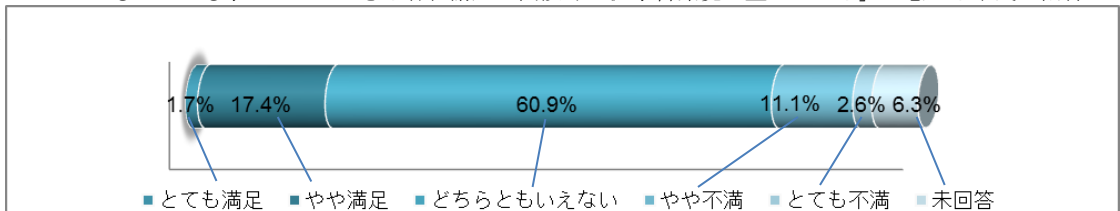


施策に対する市民の実感の状況を掲載しています。

- ・施策への取組状況などについて、市民の皆さんがどのように感じているか毎年アンケート調査を行い、その結果を「市民の実感」として掲載しています。

■ 施策に対する市民の実感

「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合



これからの課題を掲載しています。

■ これからの課題

市内部の関係課や関係機関等との連携により、「学びの循環推進事業」の活用が定着してきましたが、さらに、学習ニーズを反映したメニューの充実と、事業の周知に努め、活用を促進していく必要があります。  
今後、限られた予算の中での効率的・効果的な事業運営を可能にするため、・・・

## 基本目標 1 人がいきいきと暮らすまちづくり

### 施策 1 地域福祉の推進

盛岡市社会福祉協議会や地区福祉推進会への支援を通じ、人と人が支え合う地域づくりの推進を図るとともに、ワークショップやフォーラムを実施し、地域福祉の担い手の育成を図りました。

また、地域トータルケアシステムの構築に向け、盛岡市社会福祉協議会に地域福祉コーディネーター2名を設置し、各分野の関係機関や民生委員などとの連携を図るとともに、モデル地区を対象に実態調査を実施し、地域福祉活動の現状やニーズの把握に努め、的確なサービスを提供する仕組みづくりに取り組みました。

#### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
地域トータルケアシステム構築事業	介護		(社福) 盛岡市社会福祉協議会等への地域福祉コーディネーターの設置など	8	11
盛岡市社会福祉協議会運営費補助事業	一般	(★)	(社福) 盛岡市社会福祉協議会の運営費補助	140	136
社会福祉法人指導監督等事業	一般		社会福祉法人の指導監督や設立認可など	12	11
地域福祉団体育成事業	一般		地域福祉の推進拠点である地区福祉推進会に対する運営費補助	3	3
地域福祉計画推進事業	一般		地域福祉活動の中核的な担い手の育成、地域での日常生活ニーズの調査研究など	5	9
計(一般会計)				160	160
計(一般会計以外)				8	11

#### ・ 地域福祉計画推進事業

自治総合センターコミュニティ助成事業を活用し、3回のフォーラムを開催したことにより、実績額が大きくなりました。

フォーラムでは、地域社会を構成する市民、町内会・自治会、社会福祉協議会、事業者、ボランティア団体・NPO等と、地域福祉計画等における基本理念、取組内容について、広く共有するとともに、先進事例を学びながら、共生社会について理解を深め、共生社会の実現に向けた機運を高めました。

#### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「福祉サービスが適切に受けられる」と答えた市民の割合 <sup>*1</sup>	↑	%	<p>当初値 22.9 → H27 23.0 → H31目標値(26.4) → H36目標値(30.0)</p>
まちづくり評価アンケート調査「地域で支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合 <sup>*2</sup>	↑	%	<p>当初値 29.4 → H31目標値(31.7) → H36目標値(34.0)</p>

\*1.2 上記指標の当初値

27年度から新たに設定した指標です。当初値は、26年度の実績値としています。

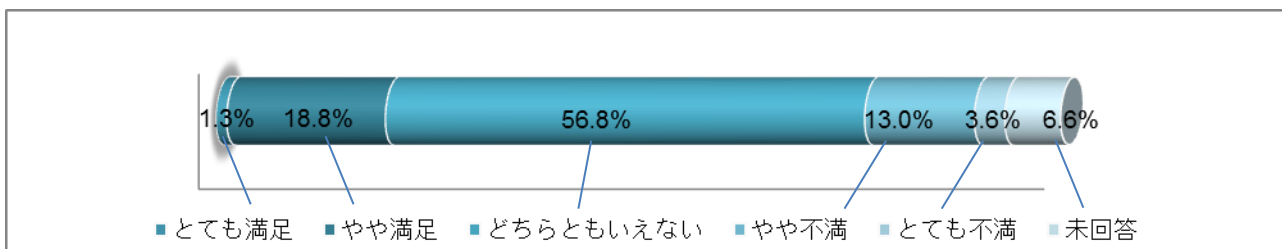
・ 「地域での支え合いが進んでいる」と答えた市民の割合が減少

地域の支えあいの一翼を担うボランティア団体数及びその登録者数がともに5～10%減少したこと、近所付き合いや地域活動に参加する人が少なくなるとともに、地域活動に参加したい人や日常生活の支援への協力ができる人が、そのきっかけを得ることが困難になっていることが考えられます。

また、東日本大震災の発災による災害ボランティアに対する関心の高まりが、年数を経ることにより落ちついてきたことも一因として挙げられます。

■ 施策に対する市民の実感

「共に支え合い安心して暮らすことができる地域社会の実現に向けた取組が行われている」と感じる市民の割合



■ これからの課題

地域のさまざまな福祉課題は、地域の実情によってとらえ方が異なり、温度差があることから、第2期盛岡市地域福祉計画に基づき、地域福祉コーディネーターの設置を着実に進めながら、個別支援だけでなく、地域資源を活かした仕組みづくりを推進するなど、各分野の相談支援機関などが有機的に連携できるような仕組み（地域トータルケアシステム）を構築する必要があります。

また、モデル地区で実施した調査結果をもとに、公的な福祉サービスだけでなく、持続可能性の高いインフォーマルな福祉サービスやコミュニティビジネスなど、地域の社会資源がその機能を発揮できるような環境の整備や仕組みの構築を進めます。併せて、それらの活動を担う人材育成を進めることが求められます。

地域福祉活動への参加や興味関心を高めるための継続的な人材育成や企業の地域福祉活動の参加を促進することによる担い手の範囲の拡大や町内会や地区福祉推進会などの小地域レベルでニーズのマッチングを行うことができる仕組みの構築が求められています。特に、大雨災害が多発しており、災害ボランティアを含め、引き続き、ボランティアの増加につなげる取組を進めていきます。

## 施策2 子ども・子育て，若者への支援

認可保育所や小規模保育園の新規開設相談，私立幼稚園の認定こども園への移行支援，定員の弾力化などに取り組み，168人の定員増につなげ，平成28年4月1日時点で待機児童0人を達成しました。

また，地域子育て支援センター事業を市内保育所8園において，つどいの広場事業を市内2箇所において実施したほか，各医療費給付事業，母子父子寡婦福祉資金，ママのあんしんテレフォン等の子育て支援サービスの周知を図り，子育てしやすい環境づくりを推進しました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
私立児童福祉施設等運営事業	一般		認可された私立保育所，母子生活支援施設の運営委託	4,799	5,404
保育所管理運営事業	一般		市内公立保育所の管理運営	448	440
特別保育事業	一般	★	保育所での延長保育，一時預かりの実施	471	180
地域子育て支援センター事業	一般	★	市内の保育所8園での保育所開放，子育て講座，子育てサークルの情報提供・支援など	60	61
医療費給付事業(妊産婦)	一般		妊産婦医療費給付	97	87
医療費給付事業(乳幼児)	一般		乳幼児医療費給付	385	382
医療費給付事業(小学生)	一般		小学生医療費給付	12	16
母子保健事業	一般		妊婦健康診査，母親教室などの開催，子育て相談	222	223
乳幼児健康診査事業	一般	★	3歳児までの各健康診査など	114	110
小児救急輪番制病院事業	一般		休日，夜間などに入院治療を必要とする小児重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	198	154
計(一般会計)				6,806	7,057

#### ・ 私立児童福祉施設等運営事業，特別保育事業

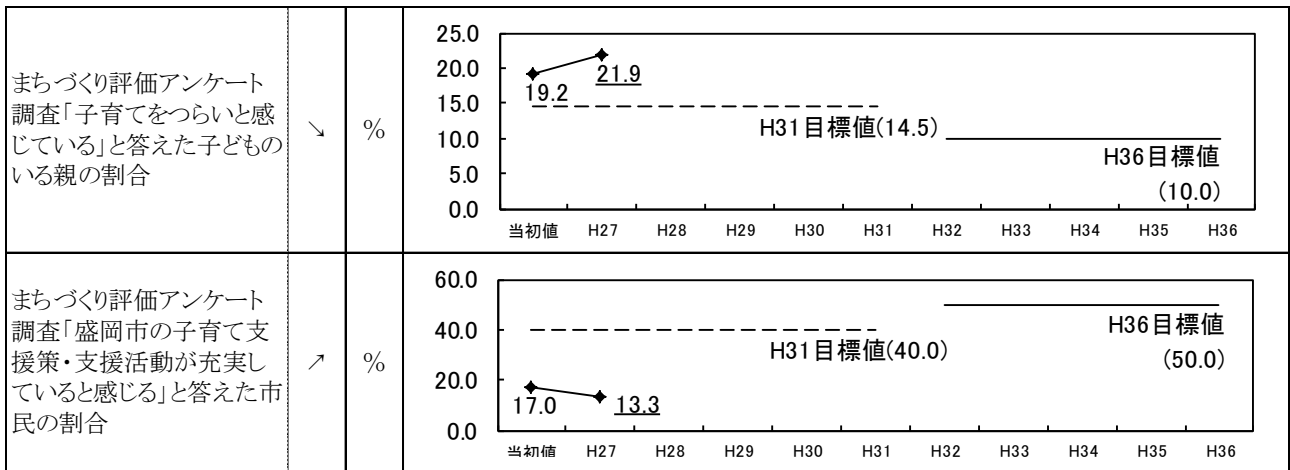
平成27年4月にスタートした「子ども・子育て支援新制度」により，これまで特別保育事業の中で実施していた休日保育等が私立児童福祉施設等運営事業に移行したほか，運営費の加算項目が増加したことなどにより，計画額と実績額の差が大きくなりました。

#### ・ 医療費給付事業(小学生)

26年度から開始した事業ですが，制度について，市民への周知が浸透してきたことなどの理由から，申請件数が増加し，実績額が大きくなりました。

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
子育て支援サービス利用者数	↗	人	<p>80,000 75,000 70,000 65,000</p> <p>当初値 70,179 H27 76,691 H31目標値(74,000) H36目標値(77,000)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>



・ 「子育て支援サービス利用者数」が増加

地域子育て支援センター及びびつどいの広場「KOKKO」「にっここ」とも利用者数が増加しましたが、このことは、事業の周知が進み、市民が利用しやすい施設として定着してきていることが要因と考えられます。

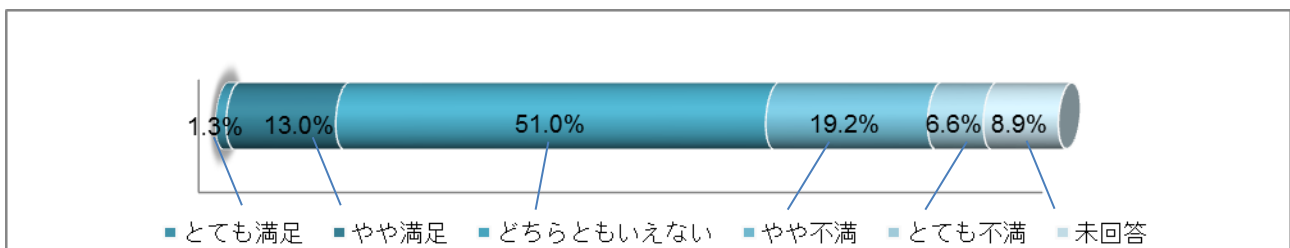
・ 「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合の増加及び「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合の減少

「地域における子育て支援」や「子育てを支援する生活環境の整備(もりおか子育て応援パスポート事業, 赤ちゃんの駅設置事業)」, 「保護を必要とする子どもへの取組の推進(児童養育支援活動事業, 要保護児童対策地域協議会の設置・運営)」など、さまざまな施策に総合的に取り組んできましたが、子ども・子育て支援に対する市民関心の高まりやニーズの多様化・高度化が進んでいることが要因の一つと考えられます。

また、「小1の壁」といわれるように、就学前、共働き家庭により保育所を利用していた児童が、就学後の放課後に、放課後児童クラブを利用するニーズが高くなっており、基準より多くの児童を受入れざるを得ない施設があることや、子育て中の親の情報交換の場や気軽に相談を行える窓口などのニーズが高まっており、サービス量が追いついていない状況があることなどが要因と考えられます。

■ 施策に対する市民の実感

「安心して産み・育てられる子育て支援の取組が充実している」と感じる市民の割合



■ これからの課題

・ 保育環境の充実

国の定義に基づく待機児童数は0人となりましたが、特定の保育所を希望するなどにより、保育所等に入れない児童が存在していることから、さらに定員の拡大を進める必要があります。

また、定員拡大を進めることで保育士も必要になることから、保育士が働きやすい環境を整備し、資格取得の際の補助など人材確保に努める必要があります。

- ・ **放課後の児童の居場所づくり**

放課後児童クラブについて、設備基準、定員基準を満たすため、クラブの分割に伴う新たな活動ができる場所や費用、職員や放課後児童支援員等の人材が必要になることから、関係団体との調整を図っていく必要があります。

児童館や児童センターでは、児童厚生員等の必要人数を定めていますが、受け入れニーズへの対応や安全面の配慮から、児童が非常に多い場合などの児童厚生員の配置を含め、見直しを検討していきます。

- ・ **子育て支援の環境づくり**

地域子育て支援センターやつどいの広場を中心に子育ての悩みや不安に対する相談、子育て情報の提供や交流等幅広く子育て支援を展開するとともに、妊娠期から育児期までの切れ目ない総合的な相談・支援をワンストップで行う「子育て世代包括支援センター」の設置や多様な主体の参画による子育て応援拠点の新設など、子育てを楽しいと感じられるよう市民ニーズに応じていく必要があります。

- ・ **その他**

医療費給付事業について、市民等から中学校卒業までの対象拡大及び現物給付の実施並びに自己負担額の全額無料化について要望があり、継続的な検討を行います。

3歳児健康診査の2段階方式について、3歳児健康診査二次健診受診につながるような周知や勧奨などを行う必要があります。

少年の健全育成について、より効率的な巡回時間やコースの設定をするとともに、悩みを抱える少年の相談を受けるための相談員の体制強化とスキルの向上を図ります。

### 施策3 高齢者福祉の充実

地域包括支援センターの増設による相談体制の充実、はなまるシニア筋力アップ教室などによる介護予防の推進や地域ケア会議などを通じた地域団体や民生委員等との協働により、地域ケア体制の構築を進めました。

また、生きがい活動を支援する「老人福祉センター管理運営事業（27施設）」、「老人クラブ活動促進事業」、「もりおか老人大学開催事業」等を通じ、高齢者の社会参加を促進しました。

#### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
地域包括ケアシステム構築事業（在宅医療介護連携促進事業）	一般		在宅医療介護連携のコーディネート事業、在宅医療設備整備補助など	36	35
地域包括ケアシステム構築事業（地域支援事業）	介護		介護予防事業、地域包括支援センターの運営など	367	350
生きがい活動推進事業	一般		老人作品展・老人芸能大会等の支援、敬老バスの運行、スポーツ振興など	30	30
介護保険事業（繰出金）	一般		介護保険特別会計への一般会計繰出金	3,250	3,308
介護保険事業（施設整備）	一般		老人福祉施設整備に対する補助	385	133
介護保険事業（特別会計）	介護		介護保険制度の周知、介護保険サービスの運用、など	22,345	23,061
計（一般会計）				3,701	3,506
計（一般会計以外）				22,712	23,411

#### ・ 介護保険事業（施設整備、特別会計）

施設整備については、補助金を活用して施設整備を行う事業者が当初の見込みを下回ったことにより、実績額が小さくなりました。

その一方で、要介護認定者の増加に伴い、介護給付費が増加し、実績額が大きくなりました。

#### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
75歳介護保険認定者数／75歳人口*	→	%	<p>当初値 9.8 H27 9.3 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(9.8) H36目標値(9.8)</p>
まちづくり評価アンケート調査「生きがいを持って暮らしている」と答えた高齢者の割合	↑	%	<p>当初値 66.0 H27 66.6 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(66.7) H36目標値(66.7)</p>

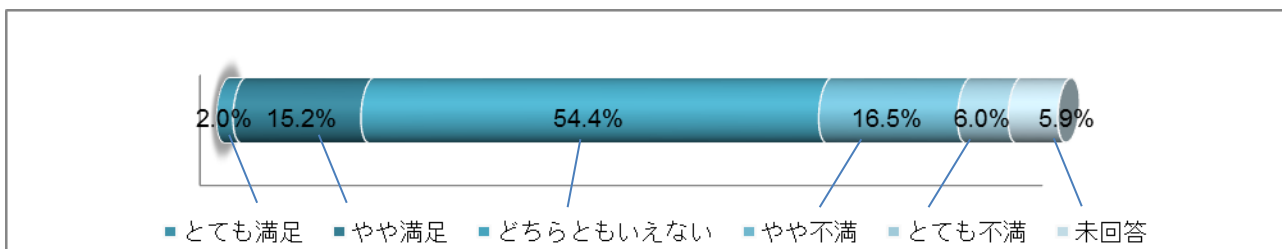
\* 「75歳介護保険認定者数／75歳人口」の当初値

27年度から新たに設定した指標です。当初値は、26年度の実績値としています。



## ■ 施策に対する市民の実感

「高齢者が積極的に社会参加できる取組や高齢者福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 地域包括ケアシステムの構築

地域包括支援センターの体制については、今後も高齢者数に応じて所要の見直しを行っていくとともに、限られたマンパワーを上手く回していく手法の検討が必要となっています。

そのため、地域包括ケアシステムの構築に向けて、工程表を作成するなど、集中的に一つひとつの事業を進めます。

市民の関心も高い認知症対策の充実を先行させて、認知症を切り口に、市民や民間法人等の地域包括ケアシステムに対する理解や協力を求めています。また、平成29年4月開始の「介護予防・日常生活支援総合事業」の円滑な実施に向けて取り組みます。

### ・ 高齢者の健康・生きがい対策の充実

高齢者人口が急速に増加する中、特に団塊世代の高齢化に対応するためにも、現行事業を検証しながら、多様化する高齢者の社会参加や社会貢献等に対するニーズを把握する必要があります。

また、高齢者にとって身近な施設である老人福祉センター等を中心とした公共施設において、住み慣れた地域で気軽に介護予防に参加できるような機会の提供を行う必要があります。

### ・ 高齢者福祉サービスの充実

65歳以上の高齢者人口の増加、特にこれに占める75歳以上の後期高齢者が増加していることに伴い、介護保険認定者も増加しています。制度の浸透とともに、介護サービス給付費の増大も課題となっていることから、介護予防事業や相談事業の充実とともに、在宅福祉施策や地域ケア体制整備を一層推進する必要があります。

また、介護予防事業への参加者数をさらに伸ばすため、参加しやすい環境づくりに力を入れるとともに、事業内容をより市民ニーズに合った内容に見直していく必要があります。



## 施策4 健康づくり・医療の充実

生活習慣に起因する内臓脂肪症候群やがん等が疑われる早期の段階から、改善や治療に取り組めるよう、各種健診の受診勧奨、健康教育及び健康相談など、身近な地域での保健活動に努めました。

また、市医師会等と連携・協力し、夜間急患診療所や休日当番医、救急医療機関からなる盛岡地区救急医療体制の周知を図ることにより、各医療機関の持つ機能をより明確にし、役割分担と連携による医療提供体制の構築を進めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
各種健康診査事業	一般	★	各種がん検診など	476	497
健康教育事業	一般	★	保健所フェスタ健康講座、地区健康教室、健康アップ教室などの開催	2	2
精神保健福祉事業	一般		こころの健康についての保健相談など	4	3
予防接種事業	一般		インフルエンザなどの各種予防接種	761	736
感染症対策事業	一般		感染症に関する検診や予防対策の周知など	26	26
食品衛生指導事業	一般		食品営業施設の監査指導や食品営業許可など	8	7
生活衛生指導事業	一般		公衆浴場に対する営業許可や井戸水の検査など	1	1
医務薬務指導事業	一般		医療施設の開設許可や医薬品販売業などの許可・登録、病院への立入検査	4	2
第二次救急医療事業	一般	★	休日、夜間などに入院治療を必要とする重症救急患者を輪番制で診療する病院への運営費補助	125	122
在宅当番医制事業	一般		休日などに開院する内科、小児科、外科・整形外科、歯科の在宅当番医による診療（盛岡市医師会、同歯科医師会に委託）	8	8
夜間急患診療所管理運営事業	一般		夜間の初期救急患者のための内科、小児科の診療（年中無休）	67	67
後期高齢者医療事業（繰出金）	一般		後期高齢者医療療養給付費負担金、後期高齢者医療費特別会計への一般会計繰出金など	3,151	3,162
後期高齢者医療事業（特別会計）	後期高齢		申請受付、保険料の徴収など	2,864	2,776
国民健康保険事業（繰出金）	一般		国民健康保険費特別会計への一般会計繰出金	1,959	2,090
国民健康保険事業（特別会計）	国保		国民健康保険の被保険者への保険給付、人間ドック等の保健事業など	31,626	31,832
計（一般会計）				6,592	6,723
計（一般会計以外）				34,490	34,608

#### ・ 国民健康保険事業（繰出金、特別会計）

保険税の軽減基準が拡大され、負担額が計画額を上回ったことから、保険基盤安定繰出金が増額になりました。また、26年度収支差額を、財政調整基金に積み立てたことにより、実績額が大きくなりました。

## ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
3大死因*1の死亡率(人口10万対年齢調整死亡率*2)*3	↘	割合	<p>230.0 220.0 210.0 200.0</p> <p>◆ 225.6</p> <p>H31目標値(223.3) H36目標値(221.1)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「身近に健康について相談できる人がいる」と答えた市民の割合	→	%	<p>100.0 90.0 80.0</p> <p>◆ 90.8 ◆ 90.8</p> <p>H31目標値(90.8) H36目標値(90.8)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「いつでも受診できる医療機関がある」と答えた市民の割合	→	%	<p>100.0 90.0 80.0</p> <p>◆ 90.9 ◆ 89.8</p> <p>H31目標値(90.9) H36目標値(90.9)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

\*1 3大死因

悪性新生物、心疾患、脳血管疾患のことです。

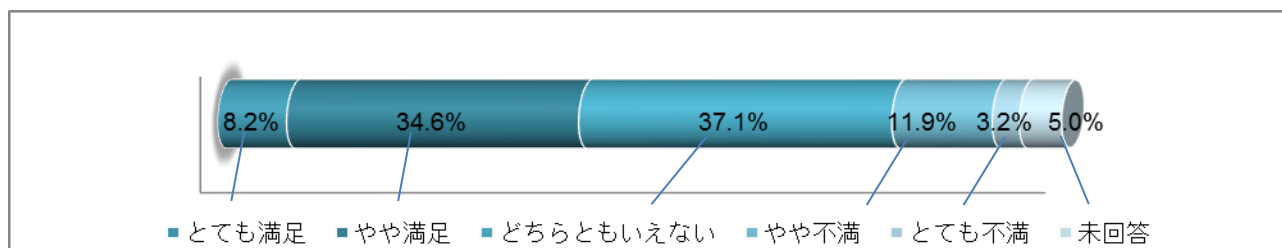
\*2 年齢調整死亡率

人口構成の異なる集団間で比較するために、死亡率を一定の基準人口にあてはめて算出した指標です。

\*3 平成27年度の実績値は、29年3月に公表予定となっています。

## ■ 施策に対する市民の実感

「健康診断や予防接種、健康相談がしやすい」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 健康の維持、予防、衛生対策の推進

3大疾病による死亡の割合は、依然として死因の約6割を占めており、病気の早期発見・早期治療のための健診受診率の向上がさらに求められます。また、生活習慣病予防や介護予防等、将来安定したQOL（生活の質）の向上を獲得するため、市民が気軽に参加できる健康教育・健康相談等の実施や健康づくりをサポートする関係機関、食生活改善推進員団体連絡協議会などと連携を図りながら、市民自らが主体的に健康づくりに取り組む環境づくりを進める必要があります。

また、全国的に食中毒の防止等、食の安全が重要な課題となっており、特に食品衛生については、法令等と最新の科学的な根拠に基づく監視指導と正しい食品衛生知識を普及啓発する取組を強化する必要があります。

- ・ **医療機関との連携**

重症患者の治療の妨げの防止や医師の負担軽減を図るため、救急医療機関の適切な利用と「かかりつけ医」を持つという意識の醸成を図る必要があります。

また、医師確保問題の解決は、個々の自治体の努力のみでは困難であることから、今後とも県全体で継続的に取り組む必要があります。

- ・ **医療の充実**

国保制度の健全運営は、ジェネリック医薬品活用の促しや多重・頻回受診者への訪問指導，特定健康診査・特定保健指導の実施率向上を図るとともに，健康診査等を通じた病気の早期発見・予防を推進し，医療費抑制に取り組む必要があります。

また，国保税の収納においては，滞納者の実態の把握に努め，効率的・効果的な催告，差押，執行停止，分納の進行管理を行うなど，収納率向上対策のより一層の推進が必要です。

## 施策5 障がい者福祉の充実

盛岡市障がい者福祉計画に基づき、障がい者への理解と交流の促進、障がい者福祉サービスの充実に向けた各種事業を実施し、障がいのある人もない人も、相互に人格と個性を尊重しあう共生社会の実現を進めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
地域生活支援事業	一般		コミュニケーション支援, 日常生活支援, 移動支援, 地域活動支援センター機能強化など	244	239
障がい者相談支援事業	一般		身体・知的・精神に係る相談事業, 福祉サービスなどに関する情報提供など	34	34
障がい者福祉施設整備助成事業	一般		障がい者福祉施設整備に対する助成	116	113
介護給付等給付事業	一般		障がい者に対する居宅介護や生活介護, 施設入所支援などのサービス給付	2,531	2,740
訓練等給付事業	一般		障がい者の機能訓練, 生活訓練, 就労支援など	1,809	1,953
医療費給付事業(重度)	一般		重度心身障がい者医療費給付	738	731
医療費給付事業(中度)	一般		中度身体障がい者医療費給付	221	214
計(一般会計)				5,694	6,024

#### ・ 介護給付等給付事業

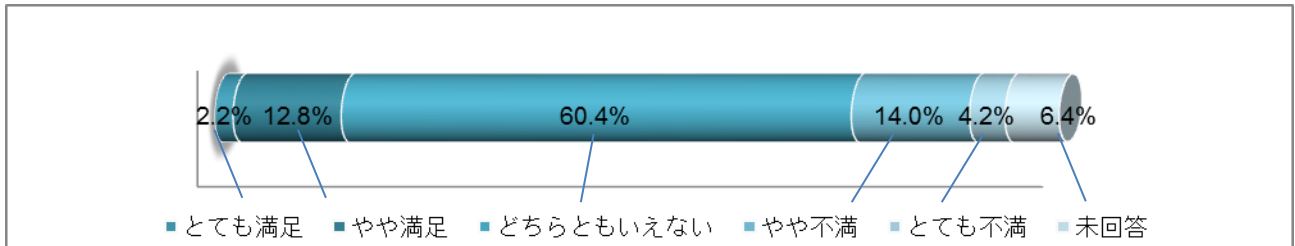
利用実績が当初の見込みを上回ったため、実績額が大きくなりました。

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
障がい福祉サービス受給者数	↑	人	<p>当初値 2,460 H27 2,780 H31目標値(3,300) H36目標値(4,100)</p>
施設, 病院から地域への移行	↑	人	<p>当初値 96 H27 122 H31目標値(150) H36目標値(195)</p>
施設から一般就労への移行	↑	人	<p>当初値 19 H27 45 H31目標値(19) H36目標値(19)</p>
管内事業所の障がい者雇用率	↑	%	<p>当初値 1.74 H27 1.83 H31目標値(2.00) H36目標値(2.00)</p>

## ■ 施策に対する市民の実感

「障がい者が安心して暮らすことができるまちづくりや障がい福祉サービスが充実している」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

国では、障がい者福祉制度の見直しを進め、「障害者自立支援法」が「障害者総合支援法」に改正され、平成25年4月1日から施行されたほか、27年7月1日から障がい者の範囲に332疾病の難病患者が含まれたことから、医療機関や保健所と連携した制度の周知が重要となります。

また、28年4月の「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の施行に合わせ、制度趣旨及び具体的取り組みの周知、徹底を図る必要があります。

## 施策6 生活困窮者への支援

福祉事務所内にハローワークの常設窓口を開設するなど、ハローワークとの連携を強化し、就労支援事業活用プログラムを充実させるとともに、稼働能力活用プログラムや職場体験等事業を積極的に推進し、生活保護受給者を対象に経済的自立や社会参加を促進しました。

また、生活困窮者自立支援法に基づき、生活相談窓口「盛岡市くらしの相談支援室」を設置したほか、一定の要件の下、家賃相当額を支給する住居確保給付金の実施、子どもの学習支援として中高生に対する就学相談や中学生に対する学習支援を行い、生活困窮者の自立の促進を図りました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
生活保護事業	一般		生活扶助費、住宅扶助費、教育扶助費、医療扶助費などの支給	7,976	7,589
生活困窮者自立支援事業	一般		生活困窮者の就労、住宅確保、学習等の支援及び自立に関する相談支援など	43	37
医療費給付事業（ひとり親家庭）	一般		ひとり親家庭等医療費給付	142	143
医療費給付事業（寡婦等）	一般		寡婦・寡夫医療費給付	56	59
公営住宅整備事業	一般		青山三丁目アパート建設工事（新3号館）、既存公営住宅の改善工事など	1,129	932
計（一般会計）				9,345	8,759

#### ・ 生活保護事業

就労支援事業等による稼働年齢層世帯の自立等により、被保護者数等が見込みを下回り、実績額が小さくなりました。

#### ・ 生活困窮者自立支援事業

住居確保給付金の利用者が見込みを下回り、実績額が小さくなりました。

#### ・ 公営住宅整備事業

工事実施に当たり、入札差金（設計額と契約額の差）が生じ、実績額が小さくなりました。

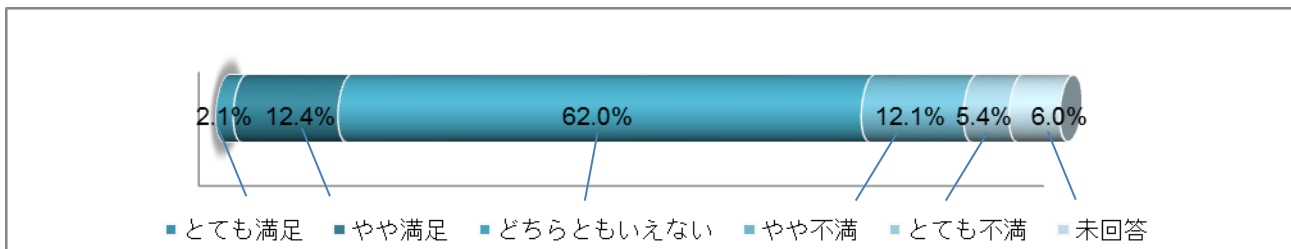
### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
生活保護受給世帯から自立した世帯の割合（死亡・移管・失踪などを除く）	↗	%	<p>8.0 6.0 4.0 2.0 0.0</p> <p>5.7 5.6</p> <p>H31目標値(6.0) H36目標値(6.0)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
生活困窮者の自立支援相談の解決率*	→	%	<p>60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0</p> <p>53.3</p> <p>H31目標値(30.0) H36目標値(30.0)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

\* 生活困窮者自立支援法の施行(27年4月)に伴い実施する事業において実績を把握するため、当初値は表示していません。目標値については、類似事業の実績値を基に設定しています。

## ■ 施策に対する市民の実感

「生活保護や医療助成などの生活の自立を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 生活困窮者の自立支援

生活相談窓口「盛岡市くらしの相談支援室」については、生活困窮者の中には自らSOSを発することができない者も多いことから、アウトリーチを含めた対策を図り、幅広く対象者の把握に努める必要があります。

また、子どもの学習支援については、就学相談による高校進学への意欲づけや高校中退防止、学習支援による学力向上や居場所づくりなど将来的な社会的自立に向けた支援を充実させ、貧困の連鎖の解消を図っていく必要があります。

### ・ 市営住宅の整備

盛岡市市営住宅長寿命化計画に基づき、事業費の削減を図りながら、計画的な建て替えや修繕等を実施します。

## 施策7 人権尊重・男女共同参画の推進

盛岡人権擁護委員協議会の活動の補助，原爆写真パネル展の開催等を通じ，平和や人権啓発の推進を図りました。

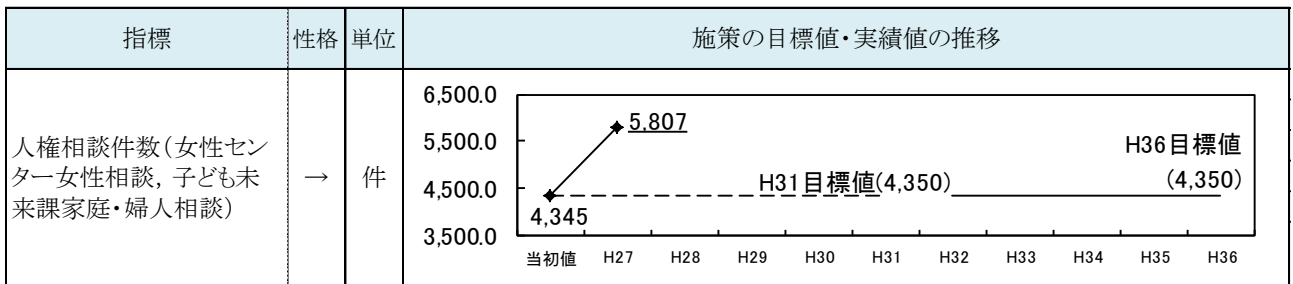
また，男女共同参画を推進する団体の取り組みの支援，日本女性会議への市民の派遣や人材育成講座の開催，情報誌の発行などにより，男女共同参画意識の高揚に努め，配偶者暴力相談支援センターにおいては，DVに対する相談や支援を行いました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
人権擁護事務	一般		人権の花運動(11小学校)，盛岡市人権擁護委員協議会活動補助など	1	1
男女共同参画意識啓発事業	一般		男女共同参画意識を高めるために，情報紙「あの・なはん」の作成や男女共同参画に資する人材を育成するための講座の開催など	1	1
配偶者等暴力防止事業	一般		DV相談，指導及び被害を予防するための啓発など	3	3
計(一般会計)				5	5

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

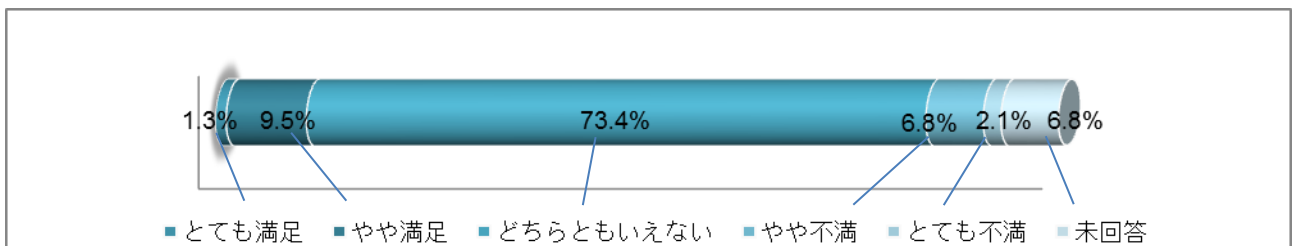


#### ・ 人権相談件数が増加

人権に関する相談は，相談窓口の周知が図られ利用者が増える一方で，解決などにより相談を必要とする人が減る(相談件数が減る)ことが理想であることから，中長期的には相談件数を維持することを目指していますが，平成27年度は，家庭相談及び婦人相談件数が大幅に増加となりました。制度の周知等により，これまで相談してこなかった相談者が顕在化したことが要因の一つと考えられます。

### ■ 施策に対する市民の実感

「男女共同参画社会の推進や人権問題への取組が行われている」と感じる市民の割合





## ■ これからの課題

### ・ 平和・人権啓発の推進

戦後70年を経過し戦争体験者が減ってきており風化が懸念されます。国外に目を向けると紛争やテロが相次いでおり、改めて多くの市民が平和の尊さを認識する機会の提供が求められます。

### ・ 男女共同参画の推進

国が示す男女共同参画基本計画に基づき、目指すべき男女共同参画社会とはどのような社会なのか認識した上で、女性参画の拡大やワークライフバランスの推進、女性に対する暴力の根絶など、各部署が施策を展開することが重要となります。また、人権相談については、相談件数の増加とともに内容も複雑化しており、早期解決に向けて、相談員の資質の向上及び関係機関とのさらなる連携を図る必要があります。

## 施策8 安全・安心な暮らしの確保

自然災害に備え、被害を軽減するため、防災・減災意識の高揚、自主防災組織の結成促進に取り組むとともに、河川や急傾斜地の整備を進めました。

また、交通安全や防犯対策を推進するため、講習会や広報紙での啓発、活動団体への支援などを行いました。空き家等対策については、盛岡市空き家等対策計画を策定するとともに、町内会・自治会との協働による空き家等実態調査を実施し、助言等を行い、是正措置がとられるよう働きかけを行いました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
急傾斜地崩壊対策事業	一般		繋地区の対策工事に向けた詳細設計, 用地測量	5	2
都市基盤河川改良事業	一般	★	★一級河川南川の改修工事など	294	280
自主防災組織育成事業	一般		周知啓発, 防災資機材の貸与	9	7
危機管理防災事業	一般		危機管理指針及び業務継続計画の運用, 危機対策本部に係るマニュアルの検証及び訓練の実施	19	21
防災施設整備事業	一般		災害用備蓄物品(アルファ化米)の購入	2	1
盛岡地区広域消防組合負担金事務	一般		消防署の運営, 消防施設の整備	2,928	2,964
消防団管理事務	一般		消防団員報酬, 出動手当, コミュニティ消防センター維持管理	184	178
消防施設整備事業	一般	(★)	小型動力ポンプ付積載車・消防ポンプ自動車の更新, 町村消防屯所建設工事など	64	61
交通安全教育事業	一般		交通安全教室の開催	9	10
交通指導員活動事業	一般		児童等の登下校時における街頭指導, 各種行事における交通指導など	45	47
防犯活動事業	一般		市防犯協会事業費助成, 防犯活動支援	6	6
空き家等適正管理対策事業	一般		空き家等の実態調査, 周辺環境に悪影響を及ぼしている空き家等の所有者に対する適正管理に係る助言など	5	5
消費者行政推進事業	一般		消費生活相談, 多重債務者対策, 食品に係る放射性物質の検査など	40	47
計(一般会計)				3,611	3,629

#### ・ 急傾斜地崩壊対策事業

予定していた県事業(繋地区の対策工事)が未実施だったことに伴い、市の負担金も減額になり、実績額が小さくなりました。

#### ・ 防災施設整備事業

入札の結果、当初の予定価格から減額となり、実績額が小さくなりました。

## ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「避難場所を知っている」と答えた市民の割合	↗	%	<p>当初値 69.0 H27 72.7 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(75.0) H36目標値(80.0)</p>
まちづくり評価アンケート調査「防災対策をしている」と答えた市民の割合	↗	%	<p>当初値 60.7 H27 57.9 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(70.0) H36目標値(80.0)</p>
人口1万人当たりの火災発生件数	→	件	<p>当初値 1.7 H27 1.6 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(1.7) H36目標値(1.7)</p>
人口1万人当たりの刑法犯発生件数	→	件	<p>当初値 68.4 H27 57.6 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(68.4) H36目標値(68.4)</p>
不適正な管理状態にある空き家等の相談件数	↗	件	<p>当初値 60 H27 178 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(85) H36目標値(85)</p>
消費生活相談の解決率(解決した件数/消費生活相談件数)	↗	%	<p>当初値 98.5 H27 98.8 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(99.0) H36目標値(99.0)</p>

- ・ 「避難場所を知っている」と答えた市民の割合が増加

全国各地で大規模な自然災害が発生していることや、自主防災組織等を中心とする地域での防災・減災への取組が普及し、災害発生時の避難に対する関心が高まったことにより、増加したものと考えられます。

- ・ 人口1万人当たりの刑法犯発生件数が減少

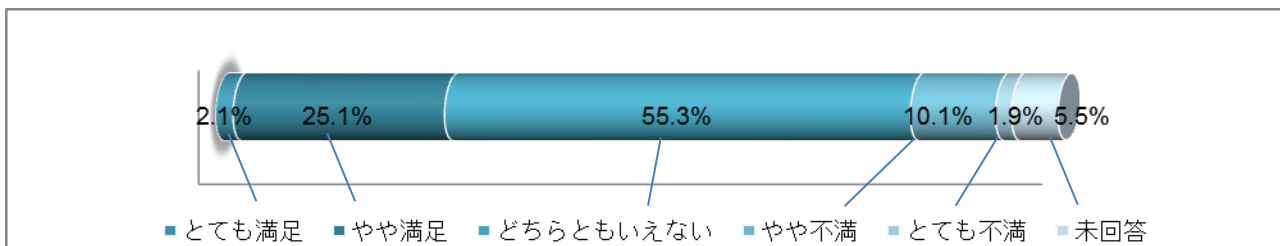
犯罪防止活動は地域ごとの日常の取組が重要であり、その観点から自主防犯活動団体や町内会等と連携しながら各般の取組を進めてきたことから、人口1万人当たりの刑法犯発生件数の減少につながっているものと考えられます。

- ・ 不適正な管理状態にある空き家等の相談件数が増加

「盛岡市空き家等対策計画」を策定し、町内会・自治会との協働により空き家等実態調査を実施するなど、積極的な対応に努めたことから、相談件数の増加につながったものと考えられます。

## ■ 施策に対する市民の実感

「安全・安心な暮らしを確保するための防災対策や防犯，交通安全，消費者相談などの取組が行われている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 危険箇所の解消

準用河川整備率の向上に向けて，更なる事業費の確保が課題となっています。

### ・ 地域防災力の強化

国・県の浸水想定区域の見直し等を反映した防災マップの作成・市民への配布，老朽化している防災行政無線（玉山地域）の更新，防災ラジオの普及（旧盛岡市域），避難所標示板の整備など，災害時に市民が迅速かつ的確に避難行動をとることができるような環境づくりを進めるとともに，自主防災組織の結成促進・育成強化を図る必要があります。

### ・ 救急・消防の充実

消防団の消防防災活動に必要な装備の整備を進めるとともに，消防団員に対する環境整備を図りながら，消防団の幹部等による団員確保の取組を行うほか，市の新採用職員を対象とする体験入団の継続実施や他の職員に対する呼びかけを行うなどの取組が必要となります。

### ・ 交通安全の推進

県内における交通事故死者数に占める高齢者の割合が高いこと，また，市内における全事故に占める自転車事故の割合が県内の割合に比べ高いことから，高齢者の事故防止啓発活動及び自転車利用者の事故防止啓発活動に重点的に取り組む必要があります。

### ・ 防犯対策の推進

市の刑法犯発生件数は平成13年以降減少傾向が続いていますが，無施錠被害の割合が高い状況が続いていることから，鍵かけ励行の啓発活動に力を入れる必要があります。

### ・ 空き家等対策の推進

管理方法等に関する相談会を実施するほか，法令に基づく代執行又は応急措置を行う場合の予算の確保に努める必要があります。

### ・ 消費者の自立支援

消費生活相談案件は，年々複雑化・多様化してきており，消費者関連法についても社会情勢の変化を受けて随時の見直し・改正されてきていることから，専門機関が実施する各種研修の受講など，相談員の継続的なスキルアップが必要となります。

## 施策9 地域コミュニティの維持・活性化

市民協働の推進等を支援するため、2つの公民館に市民協働推進センターを設置するモデル事業を実施しました。

また、コミュニティ推進地区に対して情報提供や活動助成を行ったほか、地域づくり計画に基づく事業に対して補助を行いました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
コミュニティ推進事業	一般		30のコミュニティ推進地区に対する情報提供や活動助成など	8	11
公衆街路灯電気料・街灯設置費補助事業	一般		町内会などに対する公衆街路灯の電気料及び設置費補助	117	112
市民運動総括事業	一般		あすを築く盛岡市民運動実践協議会の運営費補助	1	1
地域協働推進事業	一般		地域づくり計画に基づく事業に対して事業費を補助	16	11
コミュニティ施設建設事業	一般	(★)	太田地区活動センター太陽光発電蓄電設備設置工事など	29	26
<b>施策の計（一般会計）</b>				<b>170</b>	<b>161</b>

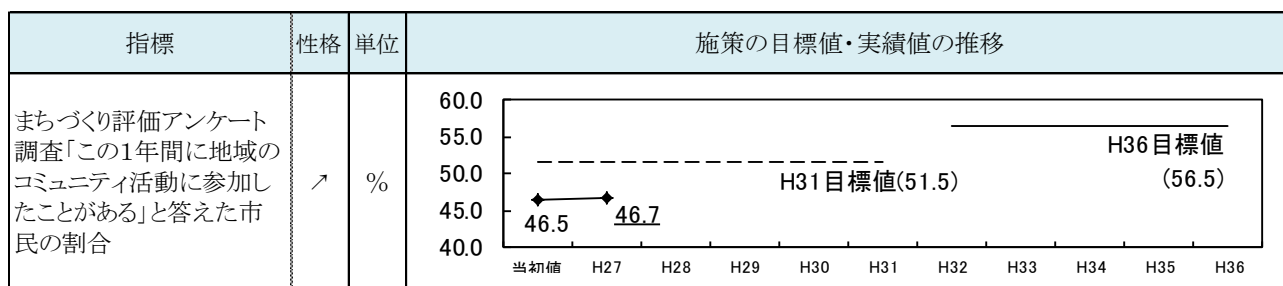
#### ・ コミュニティ推進事業

自治総合センターコミュニティ助成事業を活用し、福祉推進会やまちづくりの会の活動備品を整備したことにより、実績額が大きくなりました。

#### ・ 地域協働推進事業

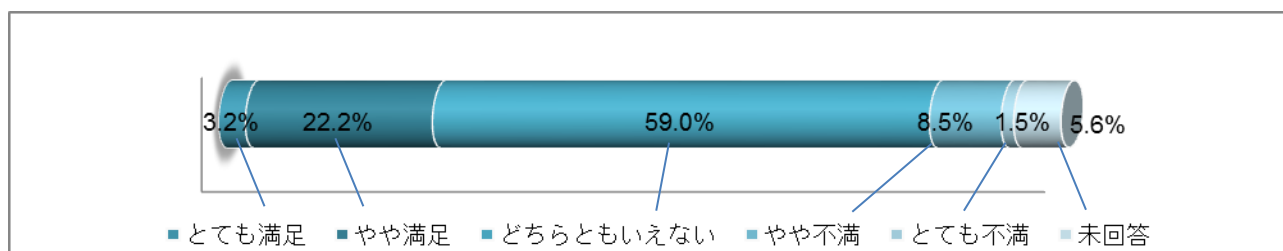
地域協働に取り組む地区が見込みを下回ったことなどにより、実績額が小さくなりました。

### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況



### ■ 施策に対する市民の実感

「町内会などの地域活動を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

コミュニティ組織存続のための町内会・自治会等への行政の支援は、全国的にも課題になっているものであり、存続可能な環境を整えるために行政ができることを一つひとつ進める必要があります。

## 施策10 生活環境の保全

公害防止対策として、大気、水質、騒音、振動、臭気の測定・監視を行い、その結果を公表しました。また、クリーンセンターの設備改修を行い、家庭や事業所から排出される廃棄物が適切に処理されるよう努めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

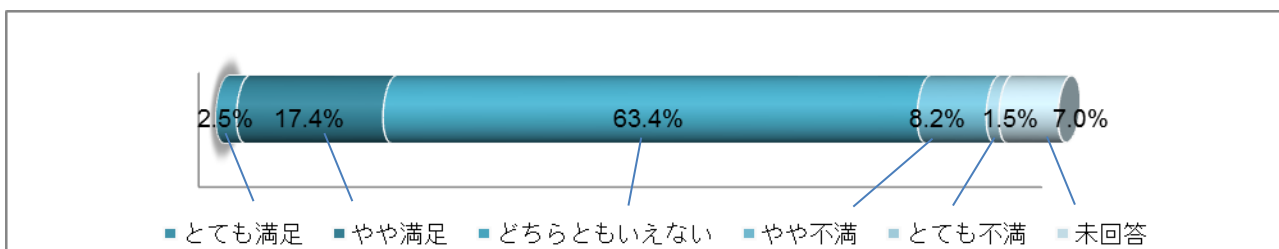
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
クリーンセンター設備改修事業	一般		焼却施設改修工事などの施設整備	217	212
公害防止対策事業	一般		大気、水質、騒音などの測定、監視など	24	22
計(一般会計)				241	234

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「清潔で衛生的、公害がないといった点で、きれいなまちだと思」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 75.8, H27 79.1, H31目標値(77.0), H36目標値(80.0)</p>
焼却処理施設での年間処理量	↓	t	<p>当初値 96,367, H27 92,898, H31目標値(82,624), H36目標値(71,172)</p>

### ■ 施策に対する市民の実感

「身近な生活環境が保全されている」と感じる市民の割合



### ■ これからの課題

#### ・ 環境衛生の確保

塵芥収集運搬を委託している地区が飛び飛びになっていることから、収集時間や地区の収集量を的確に把握することができないため、委託地域を整理し地区割りを見直す必要があります。

#### ・ 公害の防止

PM2.5の成分分析や県内外の状況について調査し、低減に向けた対応を図る必要があります。

## 基本目標2 盛岡の魅力があふれるまちづくり

### 施策11 歴史・文化の継承

国指定史跡「志波城跡」の整備，「盛岡城跡」石垣の変位調査等を進め，史跡の保護に努めるとともに，発掘調査現場の積極的な公開や展示会による調査成果の活用により，保護活用への機運の醸成を図りました。

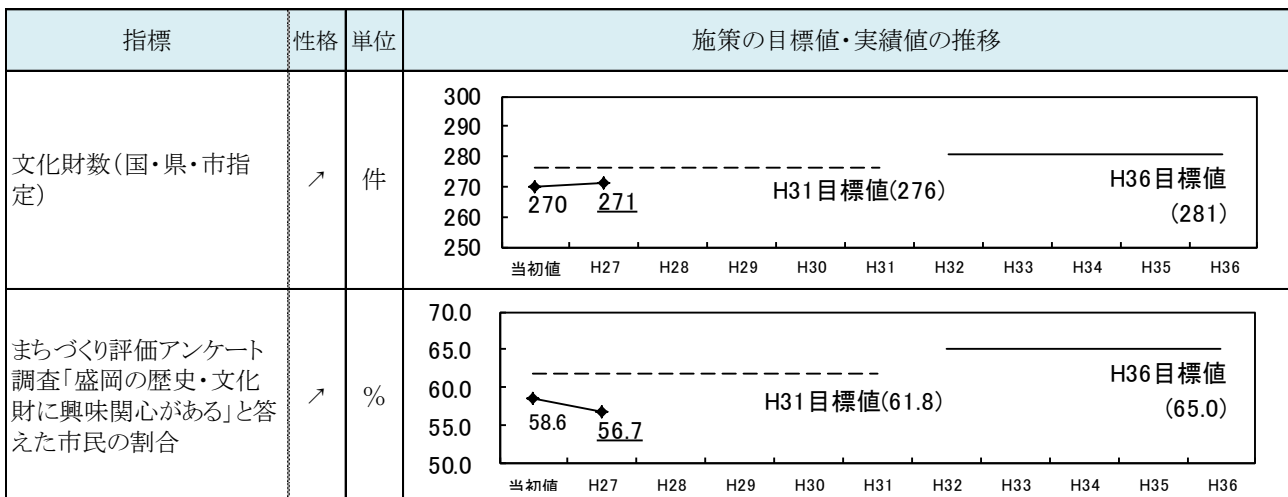
また，無形民俗文化財の保存については，後継者の育成に向けて，若い世代をターゲットとしたイベントを実施し，担い手の掘り起こしに取り組みました。

#### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
盛岡城跡保存整備事業	一般		石垣変位調査	2	2
志波城跡保存整備事業	一般		外郭西辺整備，サイン・解説板設置，用地取得など	66	56
遺跡の広場整備事業	一般	★	遺跡環境整備	1	1
計（一般会計）				68	59

#### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

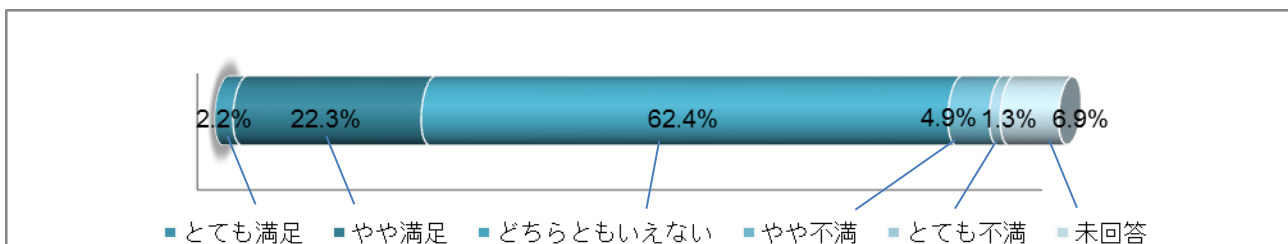


#### ・ 「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合減少

歴史・文化財に興味関心を持ち積極的に活動する市民と，歴史・文化財に触れる機会の少ない市民の二極化によるものと考えられます。

#### ■ 施策に対する市民の実感

「文化財の保護や活用が図られている」と感じる市民の割合





## ■ これからの課題

文化財及び博物館施設は、教育施設であると同時にまちづくりの資源ともなり得ることから、積極的に活用を検討して、施設管理の財源を確保しながら、計画的な保存管理及び施設修繕に努める必要があります。

先人記念館等の博物館施設については、路線バスの運行数の減少などにより公共交通機関の利用が不便な施設も多く、また、学校における利用もバス代の高騰が利用を妨げています。また、無形民俗文化財の保存に当たっては、参加してみたい市民と後継者が不足している団体のマッチングが必要となります。

今後は、歴史・文化財に興味や関心を持つ市民を増やすため、志波城まつりなどのように事業を工夫しながら、積極的な周知を図る必要があります。

## 施策12 芸術文化の振興

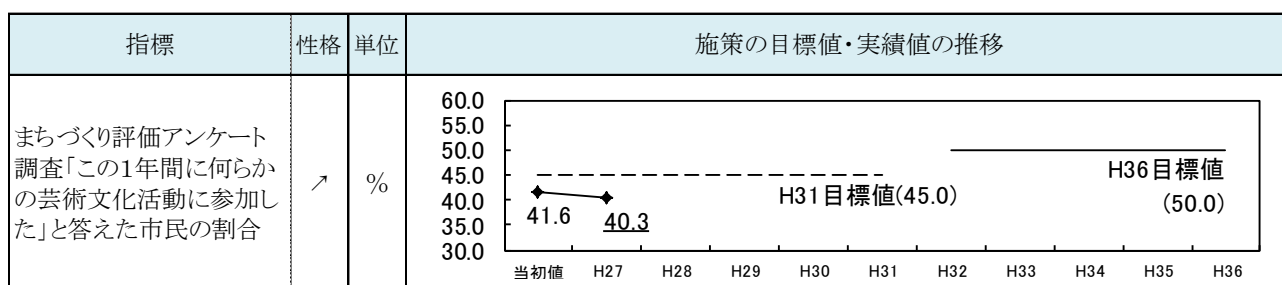
芸術文化活動振興事業及び文化会館活動事業の展開により、コンサート、演劇、美術展などの芸術鑑賞や各種講座など、芸術文化に親しむ機会を提供するとともに、市民の発表機会の支援にも努め、芸術文化活動の推進を図りました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

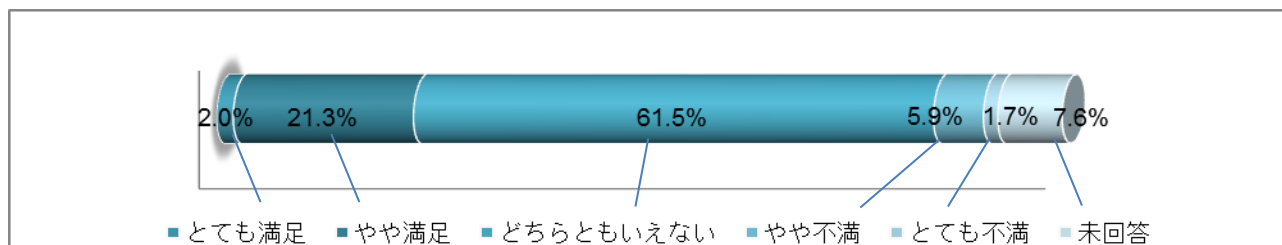
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
芸術文化活動振興事業	一般	★	芸術団体などが行う芸術文化活動の振興	3	3
文化会館活動事業	一般	★	パイプオルガン・演劇・合唱等関連講座の開催、舞台公演・美術展など芸術鑑賞機会の提供	25	25
計(一般会計)				28	28

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況



### ■ 施策に対する市民の実感

「芸術文化に親しむ機会が身近にある」と感じる市民の割合



### ■ これからの課題

新たな担い手を発掘するため、盛岡芸術協会の構成団体の活動情報の発信方法を検討し、興味がある対象へ、タイムリーな情報提供を行う必要があります。

## 施策13 スポーツの推進

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催に向けた施設整備に取り組んだほか、施設の改修を行い、市民がスポーツを継続する機会を確保し、スポーツを楽しむ環境づくりに努めました。

また、盛岡広域でのスポーツツーリズムの推進やプロスポーツの支援を行いました。

### ■ 主要事業の実績

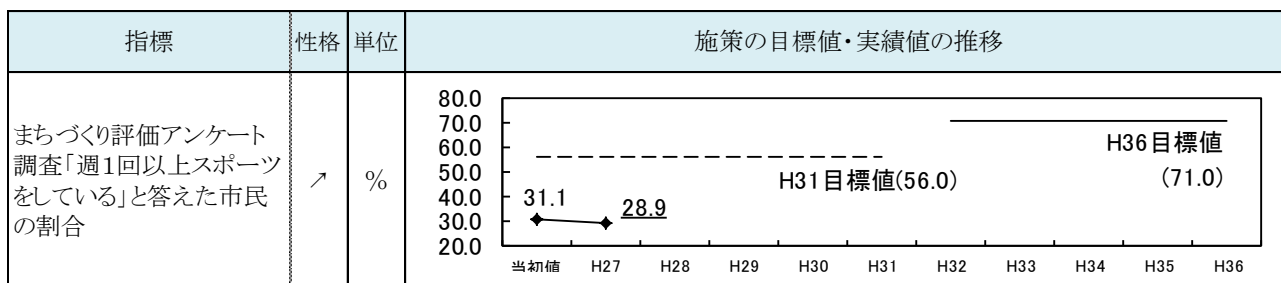
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越金)
生涯スポーツ推進事業	一般	★	指導者養成, スポーツ教室開催, 体育団体育成, 学校体育施設開放事業など	63	61
国民体育大会開催事業	一般		希望郷いわて国体・希望郷いわて大会にかかる施設整備, リハーサル大会, 冬季大会の補助など	645	514
国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業	一般	(★)	スポーツ施設整備 (アイスリンク, アイスアリーナ, 総合プール, 南公園球技場)	1,329	1,327
渋民運動公園整備事業	一般	★	渋民運動公園の整備 (陸上競技場等改修, 総合体育館耐震・天井改修など)	187	141
計 (一般会計)				2,224	2,044

#### ・ 国民体育大会開催事業

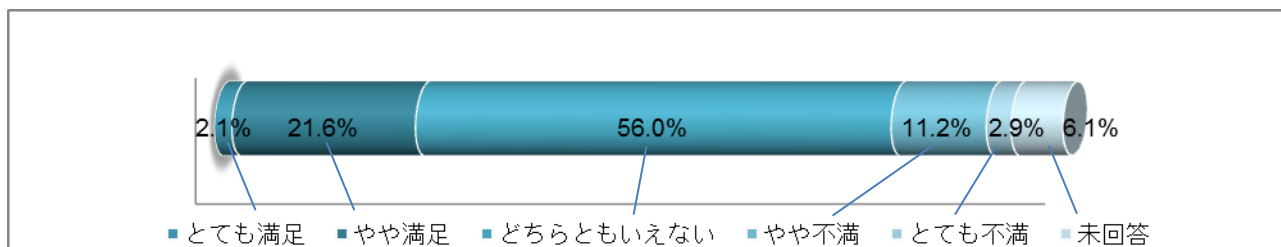
業務委託に当たり、入札差金が生じたことや、冬季大会における除排雪費用が不要になったことなどにより、補助の対象となる事業費が当初の見込みを下回り、実績額が小さくなりました。

### ■ まちづくり指標 (成果指標) の状況



### ■ 施策に対する市民の実感

「スポーツ・レクリエーションを楽しむ機会の確保や施設の整備が整っている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

- ・ **ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進**

事業開催日を大規模イベントの重複を避けるようにすることなどにより、スポーツ参画事業への参加者数を増やします。

- ・ **スポーツ施設の整備充実**

事業周知の広報，啓発方法を見直すことなどにより，平日の昼時間帯の施設利用者を増やします。

- ・ **スポーツ団体等との連携強化**

スポーツツーリズムの一環である東京オリンピック事前合宿誘致のための組織づくりを進めます。

- ・ **プロスポーツ等との連携**

市民がプロスポーツを応援するための機運の醸成を図ります。

## 施策14 「盛岡ブランド」の展開

100種類のブランドポスターの作成などインパクトのある広告宣伝や、これまで盛岡ブランドに関する情報に触れる機会が少なかった方々へ新たなPRを行い、市民の間での盛岡ブランドの認知度の向上を図りました。

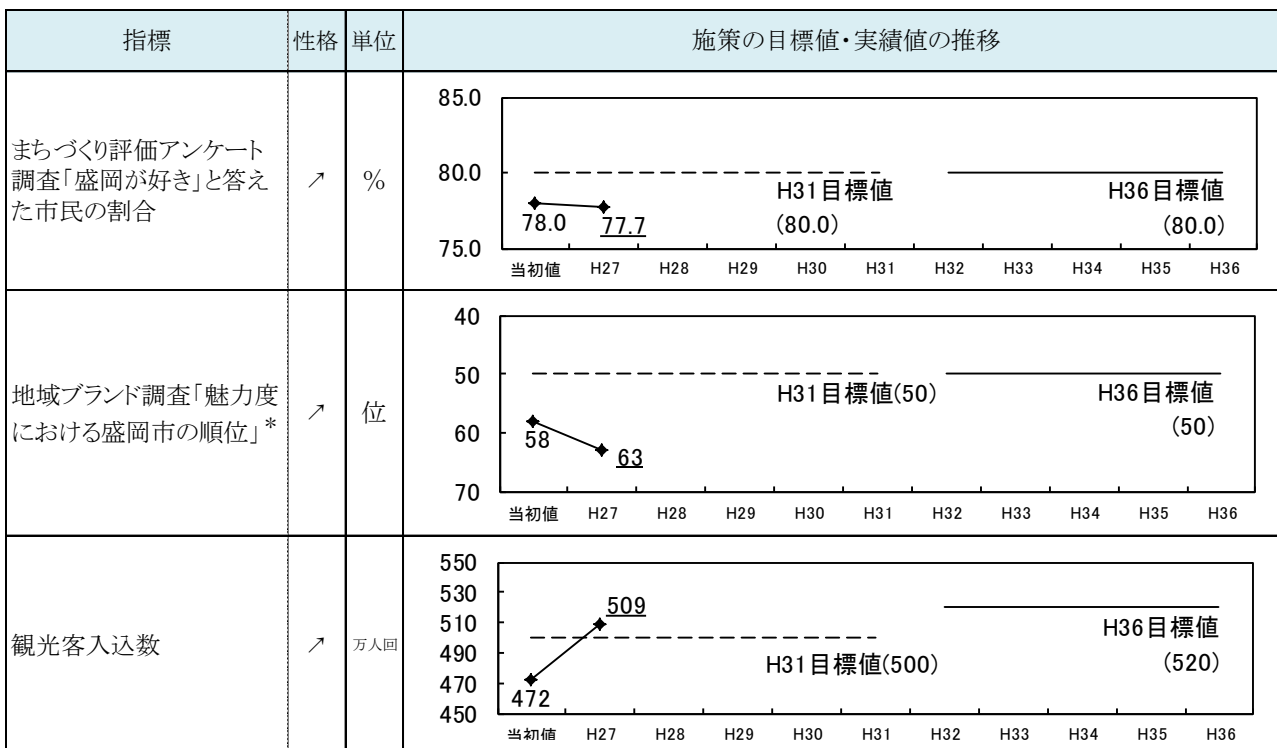
また、フェイスブックへの投稿回数を増やすなど、閲覧を促す取り組みを行い、市外の方が盛岡の情報に触れるきっかけづくりを進めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
盛岡ブランド確立事業	一般	★	盛岡ブランドの広告宣伝(ポスター制作, 掲出, 人気投票など), 盛岡ブランドフォーラムの開催(共催)など	3	3
計(一般会計)				3	3

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

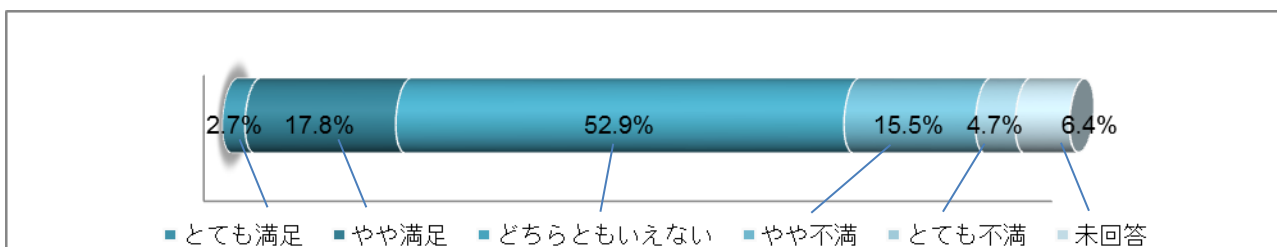


\* 「魅力度における盛岡市の順位」の当初値

27年度から新たに設定した指標です。当初値は、26年度の実績値としています。

### ■ 施策に対する市民の実感

「盛岡の価値や魅力を育み、市内外へ発信している」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 情報発信の強化

盛岡ブランドのブランドイメージを分かりやすく伝える情報発信に努めるとともに、各種媒体への情報発信の機会を増やすなど、盛岡ブランドに関する情報に市民や事業者の方が触れる頻度を増やすことが必要となっています。

また、盛岡ブランドの情報発信の強化に向けた検討及び新たに実施を予定しているシティプロモーションについての検討の中で、盛岡の価値や魅力を特に訴求する相手方（ターゲット）を設定し広告宣伝の対象を明確にするとともに、様々な情報発信の手法の試行、検証等を通じて、盛岡と関わりがある人と連携するための情報発信の手法を確立することが必要となっています。

### ・ 盛岡特産品ブランド認証制度の活用

制度を見直し、認証のメリットを明確にして事業者による積極的な制度の活用を促していく必要があります。

## 施策15 良好な景観の形成

都市景観シンポジウムや都市景観賞の表彰を実施し、市民の景観形成の啓発に努めたほか、建築物等の建築の際の指導や屋外広告物の許可を通じて、景観に配慮した快適で美しい街並みの形成を進めました。

また、市所有の保存建造物の管理運営を行うとともに、民間所有の保存建造物の修復に対して補助金を交付し、支援しました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

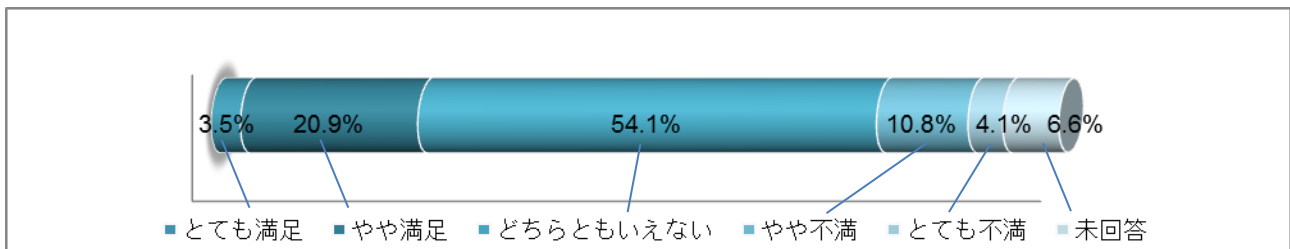
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
都市景観形成指導事業	一般	★	景観指導、都市景観シンポジウムの実施、都市景観賞の決定・表彰など	1	1
景観計画推進事業	一般		景観形成促進地区の検討、景観重要建造物等の標識設置など	1	1
屋外広告物事務	一般		屋外広告物の許可、屋外広告業の登録、簡易除却ボランティア活動の推進など	5	5
計(一般会計)				8	7

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「誇れる市街地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>80.0 78.0 76.0 74.0 72.0 70.0</p> <p>70.1 70.8</p> <p>H31目標値(74.7)</p> <p>H36目標値(79.3)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「誇れる田園や丘陵地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>80.0 75.0 70.0 65.0 60.0 55.0</p> <p>59.6 59.6</p> <p>H31目標値(69.4)</p> <p>H36目標値(79.3)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「誇れる山間地の景観があると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>80.0 75.0 70.0 65.0</p> <p>69.9 71.1</p> <p>H31目標値(74.6)</p> <p>H36目標値(79.3)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「屋外広告物(屋外に表示・設置されているはり紙や看板などは、景観に配慮して表示・設置されていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>35.0 33.0 31.0 29.0 27.0 25.0</p> <p>28.1 28.8</p> <p>H31目標値(31.1)</p> <p>H36目標値(33.6)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の景観について、改善したい景観がある」と答えた市民の割合	↓	%	<p>22 20 18 16 14 12</p> <p>20.6 18.8</p> <p>H31目標値(17.4)</p> <p>H36目標値(14.8)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

## ■ 施策に対する市民の実感

「盛岡らしい景観が形成されている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

- ・ 良好な景観形成の実現の実効性をさらに高めるため、住民合意を前提に、関係課と連携して「景観地区」、「地区計画」等の都市計画制度等の活用に取り組む必要があります。
- ・ 市域に残る貴重な歴史的建造物等は、重要な景観資源ですが、個々の建造物等の保全だけではなく、地域のまちづくりの視点で、市民協働による手法及び国の制度や補助金の導入等について、関係課と連携し取り組む必要があります。
- ・ 高層建築物や再生可能エネルギー関連設備に関して実効性のある規制や指導を行うため、景観計画において、それらに関する設置基準を定める必要があります。
- ・ 屋外広告物について、違反広告物に対する適正化指導と制度に関する周知啓発活動を、継続的かつ効率的に進める必要があります。



## 施策16 計画的な土地利用の推進

都市計画法に基づく区域区分等の見直しや開発許可制度、国土利用計画法に基づく土地取引事後届出制度を通じ、総合的で計画的な土地利用を進めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越金)
都市計画区域区分変更事業	一般		都市計画基礎調査に係る県委託業者との調整、区域区分見直しに係る県、滝沢市及び矢巾町との調整など	10	0
開発許可事務事業	一般		都市計画法に基づく開発・建築の許可事務、市内の大規模盛土造成地の把握と安全性の確認	6	6
計（一般会計）				17	6

#### ・ 都市計画区域区分変更事業

都市計画基礎調査業務について、今回に限り、県がコンサルタント業者に業務委託し実施することになったほか、区域区分変更の周知用リーフレットの配布について、平成28年度に実施することになったことにより、実績額が「0」となりましたが、県や広域市町との調整を図りながら、適切な区域区分の見直しを進めました。

### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

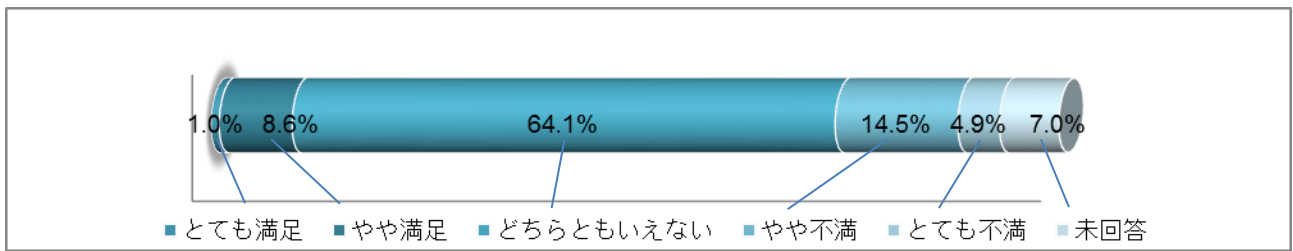
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
都市として計画的に整備し、開発し、保全する必要がある区域を指定する割合 (市域における都市計画区域の割合 <sup>*1</sup> )	→	%	<p>当初値 50.3 H27 50.3 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(50.3) H36目標値(50.3)</p>
農用地として保全し土地利用する割合 (市域における農用地区域の割合 <sup>*2</sup> )	→	%	<p>当初値 8.4 H27 8.5 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(8.4) H36目標値(8.4)</p>
森林として保全し土地利用する割合 (市域における森林区域の割合)	→	%	<p>当初値 73.2 H27 73.3 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(73.2) H36目標値(73.2)</p>

\*1 都市計画区域内の市街化調整区域と農用地区域、森林区域とが重複している区域があるため、3区域の割合の合計は100.0%を超えます。

\*2 「農用地として保全し土地利用する割合」の当初値  
当初値は、26年度の速報値としています。

## ■ 施策に対する市民の実感

「地域の特性を生かした土地利用の計画，管理などが行われている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

今後とも、各種法令に基づく事務事業を円滑に進めていくとともに、適正な土地利用が図られるよう基準等の見直しが必要となります。

## 基本目標3 人を育み未来につなぐまちづくり

### 施策17 子どもの教育の充実

教員の指導力向上のための取り組みを行い、子どもの学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めました。

また、盛岡地域生徒指導研究推進協議会を組織し、関係機関と連携を図りながら、児童・青少年の健全育成に取り組みました。学校施設については、小中学校36棟の耐震補強工事や土淵小中学校建設工事等を行ったほか、維持管理については、経年による機能低下に対する復旧措置を図り、適切な維持保全に努めました。

#### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
先人教育推進事業	一般		先人カレンダーの作成など	1	1
教育振興事業 (小学校・中学校)	一般		児童生徒の学力検査, 知能検査の実施, 小学校社会科副読本「わたしたちの盛岡」の印刷など	99	99
生徒指導強化推進事業	一般		スクールアシスタント, 不登校生徒等対策相談員の各小中学校への配置, スクールガードリーダーの委嘱など	48	48
教育活動推進事業	一般		少人数指導非常勤講師2名の配置, 読書活動推進員8名の配置	12	12
小学校整備事業	一般	(★)	土淵小中(中央棟工事), 向中野小(第二期増築実施設計), 玉山小(屋内運動場床改修ほか), 再生可能エネルギー設備設置工事(好摩小, 北松園小, 山王小)	925	664
中学校整備事業	一般	(★)	★巻掘中(校舎大規模改修), 仙北中(増築実施設計), 再生可能エネルギー設備設置工事(見前南)	772	727
学校プール整備事業	一般	(★)	土淵小・中学校改修工事	70	75
小中学校耐震診断・改修事業	一般	(★)	小学校(耐震補強工事14校), 中学校(耐震補強工事3校), 城東中(グラウンド整備), 城西中(屋内運動場等設計)	1,538	1,370
計(一般会計)				3,465	2,995

#### ・ 小学校整備事業

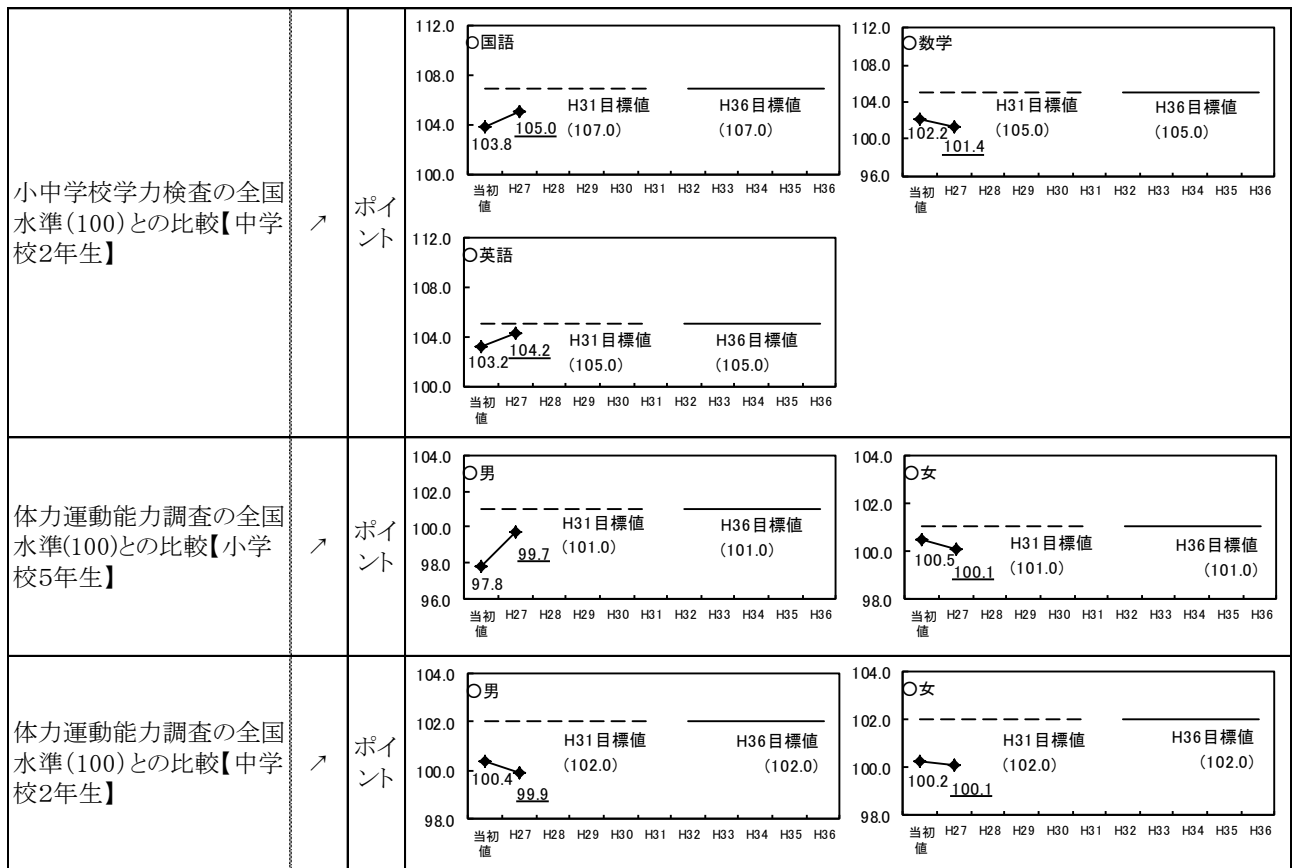
土淵小中学校施設整備事業において、用地交渉に不測の日数を要したことから、当該経費を改めて28年度当初予算に計上したため、実績額が小さくなりました。

#### ・ 小中学校耐震診断・改修事業

耐震補強工事に当たり、入札差金が発生したことや、施工内容の精査などにより事業費を抑えたことから、実績額が小さくなりました。

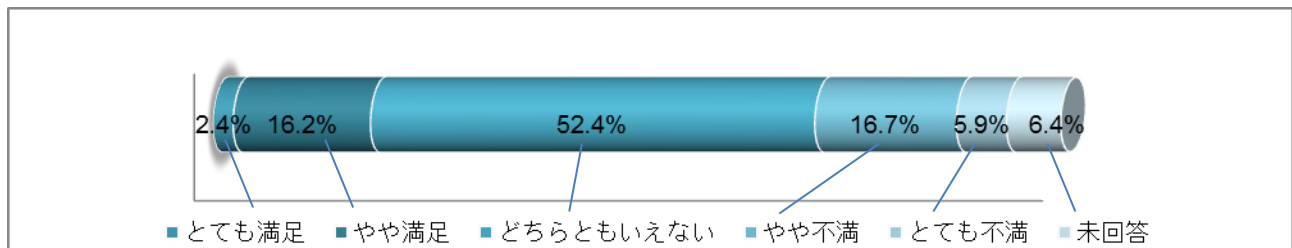
#### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移	
小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生】	↑	ポイント	<p>国語</p> <p>○国語</p> <p>— H31目標値 (113.0)</p> <p>— H36目標値 (113.0)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>	<p>算数</p> <p>○算数</p> <p>— H31目標値 (110.0)</p> <p>— H36目標値 (110.0)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>



## ■ 施策に対する市民の実感

「将来を担う子どもたちを育てる小中学校の教育内容や施設の整備が充実している」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 小中学校教育の充実

学力向上については、算数・数学の学力をさらに向上させるため、授業改善を図る必要があります。

体力運動能力については、体力向上研修会の実施、指導者の派遣による実技指導などにより、学校における体育の指導力の向上を図ります。また、学校での体力向上の取組に加え、特に小学生の体力向上を図るため、帰宅後や休日の外遊びを家庭に奨励していく必要があります。

今後は、「盛岡市次世代体力・運動能力向上プロジェクト」と連携し、平成29年度までに盛岡市立全小学校においてSAQトレーニングに取り組みます。

道徳教育では、授業の充実を図り、児童生徒の心を育てるとともに、学校での計画的、系統的な指導により、引き続き、いじめなどの問題行動の未然防止に取り組みます。また、学校全体での情報の共有化や教育相談体制の更なる充実を図り、問題行動の早期発見や不登校児童生徒の減少を図ります。

児童生徒の貧困対策としては、就学援助事業の要保護世帯に係る補助項目の追加3費目を段階的導入するための財源確保が必要となります。

- ・ **幼稚園教育の充実**

市立幼稚園における幼児教育については、今後の幼児教育の在り方を検討していくとともに、幼稚園教諭に対しての研修を実施し、指導力の向上を図っていく必要があります。

- ・ **高等学校教育の充実**

市立高等学校については、文武両道の生徒指導を推進しながら、教育環境の変化に対応するため、25年度から32年度までの第二次市立高校教育改革基本方針に基づき、県内唯一の市立高校として特色ある校風の創出に努める必要があります。また、今後も生徒の第一希望の進路達成に向けて取り組み、進学・就職進路達成率を維持することが必要であり、特にも就職支援員の継続的な配置が必要となります。

- ・ **学校施設の整備・充実**

学校施設については、老朽化が進行している学校施設の計画的な改修・修繕による教育環境整備が必要となります。

## 施策18 生涯学習の推進

市民が企画する生涯学習活動に市職員や大学教員等を講師として派遣するなど、学びの循環推進事業により、市民の学習活動の支援を行いました。

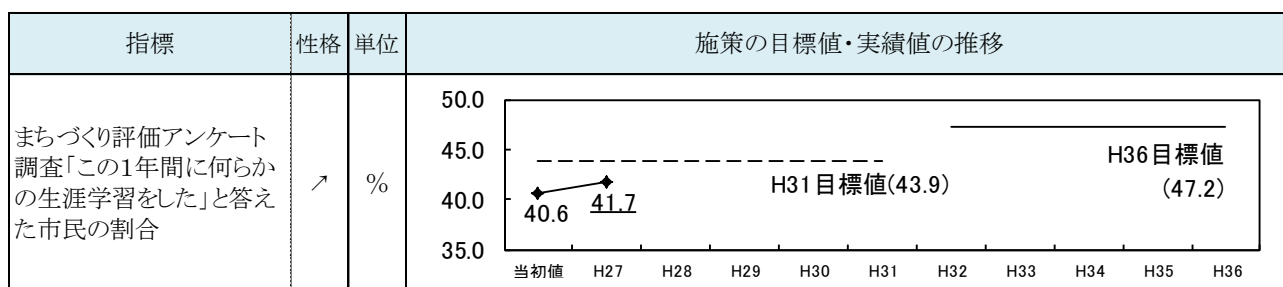
また、中学生や青年を対象に、団体活動のリーダー養成を行い、教育振興運動の中学生の社会参加活動や成人のつどいの企画運営を行ったほか、子ども会のボランティア指導者の養成・登録を行い、子ども会活動に紹介するなど、地域での活用を図りました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

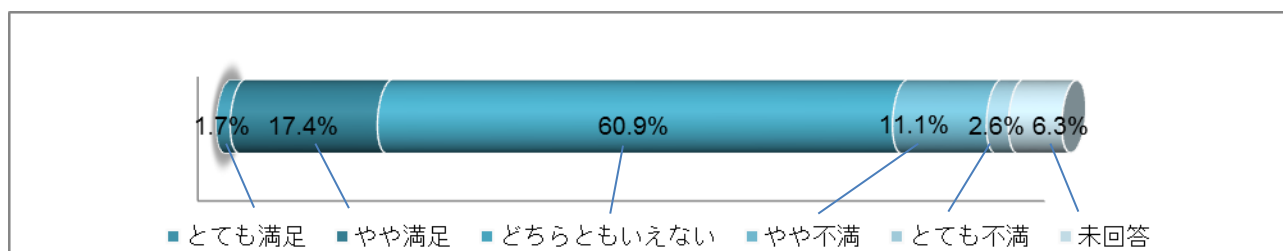
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
社会教育促進事業	一般	★	学校・家庭・地域連携推進事業、生涯学習推進事業、社会教育団体活動支援、成人のつどい式典実施など	17	16
社会教育施設整備事業	一般		見前南地区公民館建設（造成工事など）	28	25
計（一般会計）				45	41

### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況



### ■ 施策に対する市民の実感

「いつでもどこでも学ぶことができる各種講座の開設や生涯学習環境が整っている」と感じる市民の割合



### ■ これからの課題

市内部の関係課や関係機関等との連携により、「学びの循環推進事業」の活用が定着してきましたが、さらに、学習ニーズを反映したメニューの充実と、事業の周知に努め、活用を促進していく必要があります。

今後、限られた予算の中での効率的・効果的な事業運営を可能にするため、個々の施設だけの取組ではなく、施設同士が連携し、情報の共有を図りながら事業を展開していく必要があります。また、新たな課題に対応するため、長年実施して一定の成果のあったもの、時代の要請に合っていないものを廃止するなど、常に内容を見直す必要があります。

施設の管理運営においては、老朽化に対応するため、「公共施設保有最適化・長寿命化基本計画」に基づき、計画的に修繕や改修を実施し、良好な学習環境を確保する必要があります。長期的には、民間活力の導入や効率的な施設運営についての検討を行い、効率的で効果的な施設・事業運営を行うことが求められます。

## 施策19 社会を担う人材の育成・支援

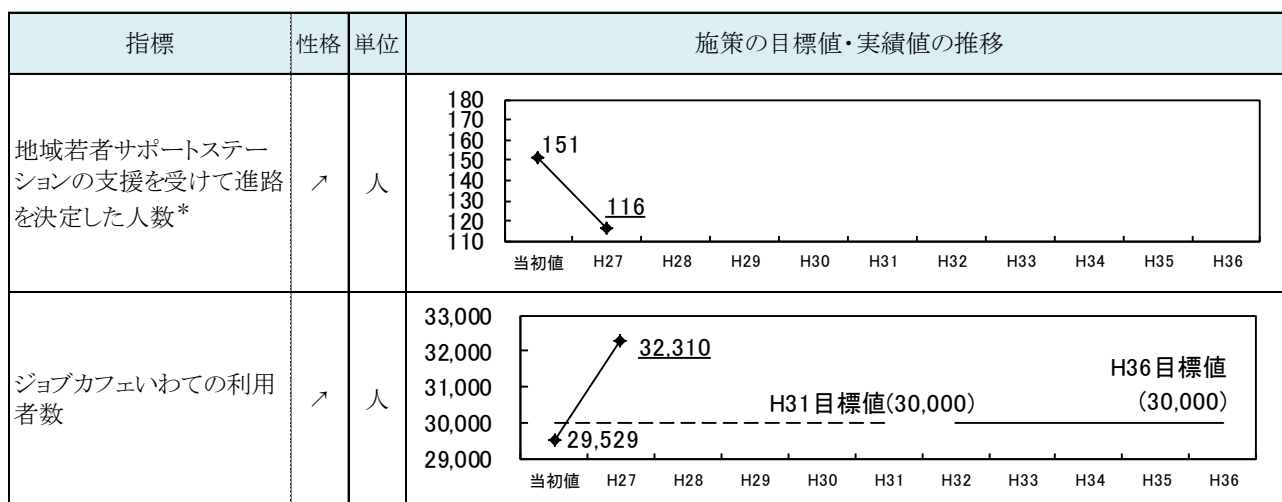
ジョブカフェいわて、若者サポートステーション、新社会人就職定着支援等により、若い世代に対して、就業や職場定着などに係る情報提供や各種支援を行い、就学等から就業へ円滑に移行できる環境を整える取り組みを実施しました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
若者の就業支援事業	一般		ジョブカフェいわて、若者サポートステーションの運營業務委託、新社会人就職定着支援など	17	16
計 (一般会計)				17	16

### ■ まちづくり指標 (成果指標) の状況



\* 厚生労働省への報告が義務付けられている対象者の人数を採用していますが、H27から報告対象が変更されています。目標値については、改めて設定のうえ、事業の進捗を図ることとします。

当初値: 就職決定者数、進学者数及び他の支援機関への紹介者数等の合計値

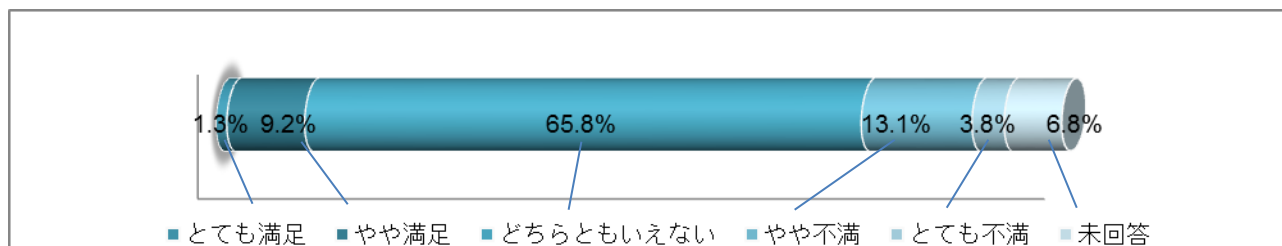
H27: 就職決定者数(雇用保険の被保険者になり得る者)のみ

#### ・ ジョブカフェいわての利用者数が増加

様々なセミナーの開催等を通じて、「ジョブカフェいわて」の認知度が向上したことが要因の一つと考えられます。

### ■ 施策に対する市民の実感

「ライフスタイルに合わせた、若い世代や女性の活躍を支援する取組が行われている」と感じる市民の割合



### ■ これからの課題

引きこもり (いわゆるニート) の実態把握と「ジョブカフェいわて」、「もりおか若者サポートステーション」に関するさらなる周知を図る必要があります。



## 施策20 地球環境の保全と自然との共生

「盛岡市住宅用太陽光発電システム設置費補助制度」の補助の対象を蓄電池にも広げたほか、公共施設10ヶ所に太陽光発電設備を設置し、再生可能エネルギー設備等の導入を促進しました。

また、「もりおかエネルギーパーク」が、経済産業省より次世代エネルギーパークとして認定され、市内外へその取組を発信したほか、環境啓発イベントを開催し、環境意識の向上に努めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
地球環境啓発事業	一般		環境啓発イベント及び環境学習講座の開催、環境部ウェブサイト保守管理委託など	6	6
資源集団回収報奨金交付事業	一般		資源集団回収を行う団体に対する報奨金の交付など	39	36
地域循環型生ごみ処理推進事業	一般		集合住宅における地域循環型生ごみ処理機の設置など、地域循環型モデル地区の推進	2	2
地球温暖化対策実行計画推進事業	一般		太陽光発電システム設置への補助、地球温暖化対策実行計画推進基金の積立てなど	41	24
生出地域エコタウン事業	一般	★	ユートランド姫神玄関融雪装置設置工事、電気自動車のリース	8	8
計（一般会計）				95	75

#### ・ 地球温暖化対策実行計画推進事業

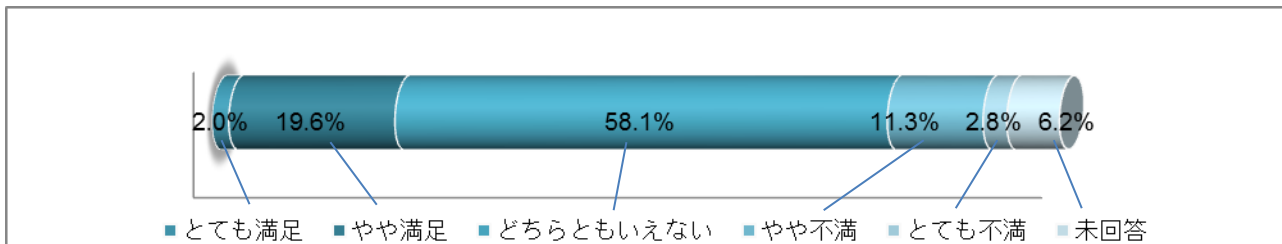
FIT単価が下がったことなどにより、住宅用太陽光発電システム等設置費補助金の件数が前年度より約6割減少したため、実績額が小さくなりました。

### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「自然が守られていると思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>90.0 85.0 80.0 75.0 70.0</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>80.8 82.6 H31目標値(83.0) H36目標値(86.0)</p>
まちづくり評価アンケート調査「CO <sub>2</sub> の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	↑	%	<p>90.0 85.0 80.0 75.0 70.0</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>80.7 78.4 H31目標値(83.0) H36目標値(86.0)</p>
ごみ総排出量	↓	t	<p>120,000 115,000 110,000 105,000 100,000 95,000</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>118,398 114,318 H31目標値(106,233) H36目標値(96,096)</p>

## ■ 施策に対する市民の実感

「エネルギーの有効利用や廃棄物の発生抑制など、環境への負荷を軽減する取組が行われている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 自然の保護と活用

市民の身近な自然の活用と自然環境の保全に関する意識付けを図るために、未調査である蕨川地区の自然環境調査を実施する必要があります。

### ・ 環境を大切に作る心の育成

環境基本計画及び盛岡市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を着実に推進するため、市民・事業者と連携して啓発を中心とした各種事業を展開する必要があります。また、環境啓発イベントや環境学習講座について、より多くの市民が関心を持って参加できるように内容を検討する必要があります。

次世代エネルギーパークとして認定された「もりおかエネルギーパーク」を市内外へ広く情報発信するほか、環境部ホームページやSNSを活用し、環境啓発に向けた情報提供の充実に努めます。

### ・ 資源循環型社会の形成

一般廃棄物処理基本計画の改定については、新しい基本計画におけるごみの減量目標と、それを達成するための施策事業を検討する必要があります。

また、一般廃棄物処理の広域化については、新ごみ焼却施設建設地の選定及び地元住民との合意形成が必要となり、ごみ焼却施設以外の処理施設の広域化の検討やごみ分別品目の統一の検討についても進める必要があります。

### ・ エネルギーの有効利用

東日本大震災を教訓に、環境負荷の少ないライフスタイル・ワークスタイルへの変革について、環境部ホームページ、啓発イベント、環境学習講座などで、市民・事業者に訴えていく必要があります。

また、温暖化対策実行計画に掲げたCO<sub>2</sub>の7%削減(1990年比)を着実に推進するため、再生可能エネルギーの導入促進や省エネ活動の必要性について、更なる周知啓発に努めます。

民間事業者の再生可能エネルギー施設の設置について引き続き協力連携するとともに、公共施設への再生可能エネルギー及び省エネルギー設備の率先導入に努めます。

## 基本目標4 人が集い活力を生むまちづくり

### 施策21 農林業の振興

安全・安心な食料への消費者ニーズの高まりに応え、米やりんごの減農薬、減化学肥料による栽培を促進するとともに、短角牛、アロニア、行者ニンニクなどの地域特産物の生産及び消費拡大の推進を図りました。

また、農業用水路、農道、林道などの農林業施設の整備や、農村地域の生活環境の保全に向けた地域一体となった取組を推進したほか、「市産材流通推進アクションプラン」の基づき市産材の利用拡大と地域林業の活性化に取り組みました。

#### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
水田農業構造改革事業	一般		米の計画的生産と水田を有効に活用した麦、大豆などの生産の定着と拡大に対する補助	14	14
いわて地域農業マスタープラン実践支援事業	一般		生産から流通までの条件整備を支援するため、農業機械導入・施設整備などに係る経費を補助	10	8
果樹産地化事業	一般		早期多収及び省力化を図ることができるりんごの「わい化栽培」のための苗木、支柱などの購入経費補助	1	1
盛岡の食材プロモーション事業	一般		商談会やPR販売を実施する盛岡市農業振興連絡協議会への負担金の支出	2	2
中山間地域等直接支払事業	一般		中山間地域で耕作放棄防止を内容とする協定に基づき継続して農業生産活動を行う農業者などを支援するための交付金の支給	59	53
環境保全型農業直接支払交付金事業	一般		農業に有用な生物多様性の保全に効果の高い営農活動に対する補助	16	18
畜産振興事業	一般		畜産農家に対する畜産技術の指導・普及の支援	28	24
有害鳥獣対策事業	一般		盛岡市鳥獣被害防止計画に掲げる有害鳥獣による農作物被害の軽減を図るため、対象鳥獣の捕獲及び被害防除の実施	4	4
市産材利用拡大推進事業	一般	★	市産材の利用拡大に向けた取組として町内会などが行う公共的な施設整備への市産材の支給及び市産材利用住宅への支援	3	3
多面的機能支払交付金事業	一般		農地の多面的な機能を維持するため、水路や農道などの管理や補修等の活動に対する交付金の支出	267	224
農業基盤整備事業	一般	(★)	農業生産基盤を整備するため、農業者などが組織する団体が行う農道整備や土地改良事業に対する負担金の支出	118	70
森林適正管理推進事業	一般	★	森林の造林や除間伐、林内作業道の開設などに対する助成など	18	17
市有林造成事業	一般	★	市有林の造成と公益的機能の充実のために行う森林の保育、間伐など	63	51
地籍調査事業	一般		根田茂第7地割、根田茂第8地割及び築川第6地割の一部を対象に境界の立会及び測量を実施	40	40
計(一般会計)				644	528

#### ・ 農業基盤整備事業

県事業に対する国費の交付額が減額により県事業が縮小されたことに伴い、市の負担額が減額になったことにより、実績額が小さくなりました。

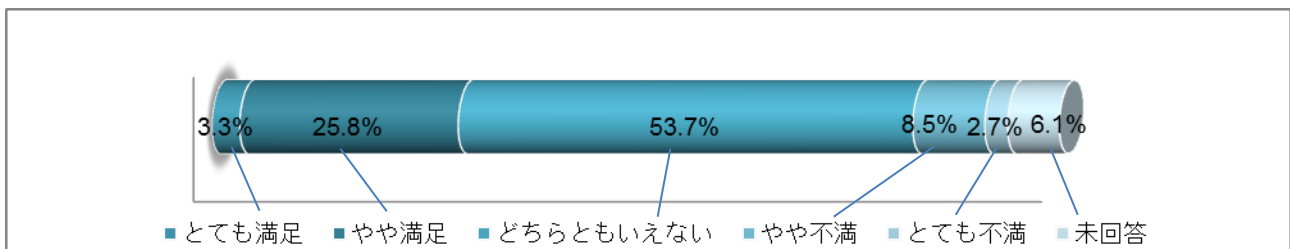
## ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
農業総生産額*1	↗	百万円	<p>9,000 8,800 8,600 8,400 8,200 8,000</p> <p>8,230 8,637</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
林業総生産額*2	↗	百万円	<p>1,000 800 600 400 200</p> <p>411 883</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
新規就農者数	↗	人	<p>200 150 100 50</p> <p>71 93</p> <p>H31目標値(121) H36目標値(171)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
農用地の利用集積面積	↗	ha	<p>5,000 4,000 3,000 2,000</p> <p>2,476 2,981</p> <p>H31目標値(4,230) H36目標値(4,581)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

\*1, 2 当初は岩手県の統計数値「純生産額」を指標としていましたが、統計数値が「純生産額」から「総生産額」に変更になったことから、指標を「総生産額」に見直すものです。目標値については、改めて設定のうえ、事業の進捗を図ることとします。

## ■ 施策に対する市民の実感

「地域特性を生かした、地産地消の取組が進んでいる」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

県内最大の消費地である地域特性を生かした都市型農林業の展開と、持続可能な農林業による食料自給体制の強化や資源循環型社会の実現に向けた課題は次のとおりです。

- ① 高齢化や後継者不足、耕作放棄地増加など、地域における「人と農地の問題」への対応
- ② 農業基盤施設の整備促進及び長寿命化等の適正な維持管理
- ③ 経営所得安定対策や中山間地域等直接支払制度等の活用
- ④ 減農薬、減化学肥料による特別栽培など環境保全型農業の推進
- ⑤ 農商工連携や6次産業化、ブランド化による農畜産物の高付加価値と販路拡大、産直施設の経営強化への支援

- ⑥ 有機物資源活用施設の有効利用の推進
- ⑦ 鹿など新たな有害鳥獣被害への対策の強化
- ⑧ 市産材利用拡大による地域林業の活性化と健全な森育成
- ⑨ 松くい虫被害地域の拡大阻止
- ⑩ 原子力発電所の事故に伴う放射能物質拡散への対策

## 施策22 商業・サービス業の振興

第2期盛岡市中心市街地活性化基本計画に基づき、中心市街地の回遊性を向上させるための各種事業に関係団体と連携して取り組んだほか、地域カード（MORIO-Jカード）を活用して、盛岡地域振興商品券発行事業を実施しました。

また、盛岡市商店街の活性化に関する条例の周知を図りました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
商店街活性化支援事業	一般	(★)	商店街のイベント、商店街からの情報発信、個店の魅力アップ、空き店舗対策などの支援	11	12
商工団体育成事業	一般		商工団体に対する事業費補助などの活動支援	36	36
商店街等指導事業	一般		商店街や業界団体などに対する経営指導、商店街の組織強化に対する支援	1	1
中央卸売市場活性化事業	市場		市場活性化ビジョンの推進	1	1
計（一般会計）				48	48
計（一般会計以外）				1	1

### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
卸・小売の年間販売額	↗	億円	<p>12,000 11,500 11,000 10,500 10,000</p> <p>10,724 10,220</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(11,300) H36目標値(11,800)</p>
サービス業の事業所数	↗	事業所	<p>5,400 5,000 4,600 4,200</p> <p>4,639 5,207</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(4,900) H36目標値(5,100)</p>

#### ・ 卸・小売の年間販売額が減少

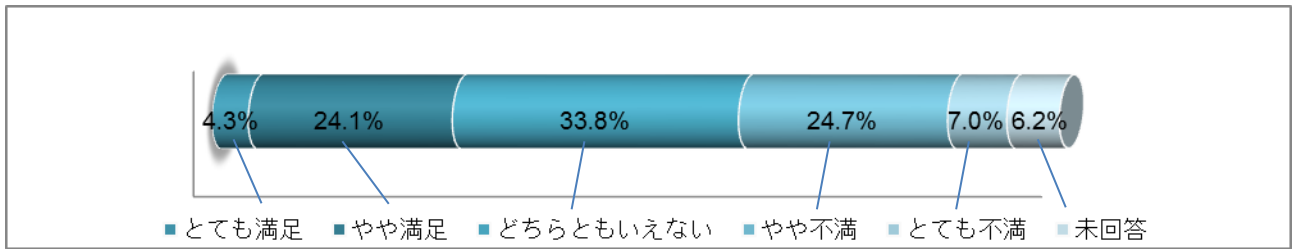
消費者ニーズの多様化により拡大している通信販売やインターネット販売による県外の事業者に対する購買が多いことが主要因と考えられ、卸の機能が他県へ移動したことや、デフレの影響・人口減少もその背景にあると考えられます。

#### ・ サービス業の事業所数が増加

平成26年度経済センサスの結果が本年公表され、東北の県庁所在都市全てがサービス業の事業所数を伸ばしており、全体的傾向と考えられます。具体的には、市民のライフスタイルの多様化や少子高齢化社会の進展による消費ニーズの変化に伴い、医療福祉関連事業所や学習支援等の事業所が増加していることが成果を押し上げた要因と考えられます。

## ■ 施策に対する市民の実感

「商店街で買い物がしやすい」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

郊外型大型店の出店や中心市街地における小売年間販売額の減少等を背景として策定した第2期中心市街地活性化基本計画に位置付けられた事業を着実に実施し、にぎわいの創出や回遊性の向上を図る必要があります。特に盛岡バスセンター再整備事業は、官民連携により強力に推進します。

また、岩手医大附属病院の移転に伴う影響が顕著であると想定されることから、関係機関と一体となった当該跡地活用を検討します。

さらには、少子高齢化社会において、持続可能な商業・サービス業の発展を促進するためのビジョンを策定するほか、商店街活性化条例の趣旨による商店街の活動環境の整備や効率的な物流サービス機能の向上を図る必要があります。

なお、買物の利便性が低下している地域においては、地域や事業者と連携した対応を検討します。

## 施策23 工業の振興

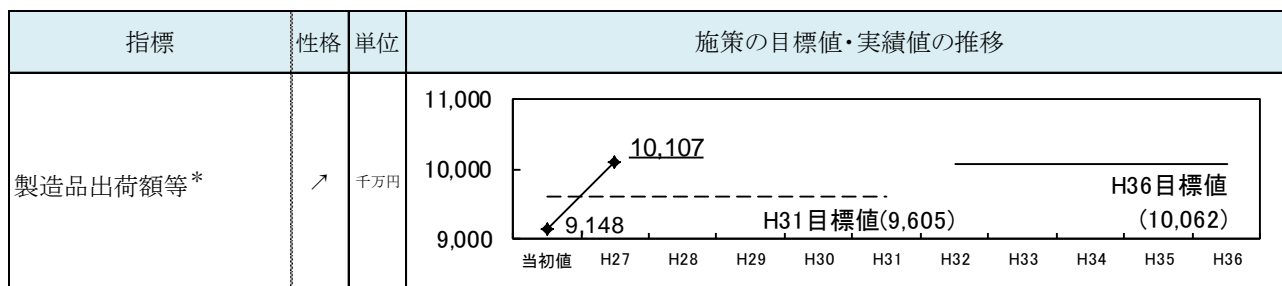
産学官連携研究センターなどを拠点に、入居企業の研究開発支援や大学等との共同研究の助成などにより、産学官連携の強化や新事業の創出を図るとともに、国から認定を受けた「創業支援計画」により、細かな起業家支援を行いました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
工業振興事業	一般		製造業者や事業者に対する助成制度の運用、企業訪問による企業経営課題への助言・指導支援など	15	15
産業支援事業	一般		経営相談窓口の設置及び専門家派遣、新分野進出企業の支援	14	12
産学官連携研究センター管理運営事業	一般		産学官連携研究センターの管理運営	19	19
新事業創出支援センター管理運営事業	一般		新事業創出支援センターの管理運営	8	8
産業支援センター管理運営事業	一般		産業支援センターの管理運営	17	17
計（一般会計）				72	70

### ■ まちづくり指標（成果指標）の状況



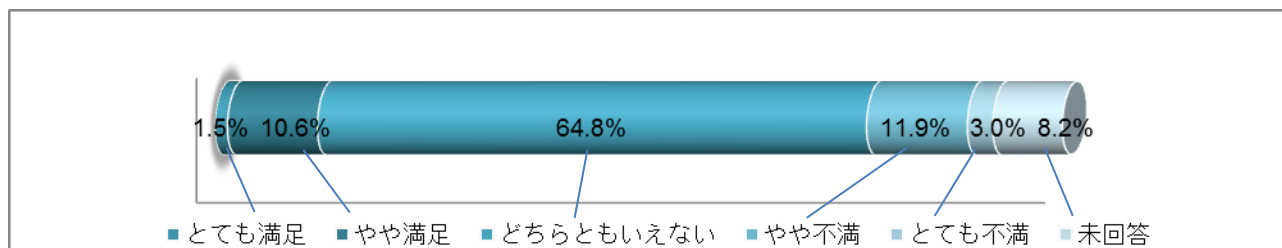
\* 当初値は、計画策定時点での最新値(平成25年度速報値)を用いています。

#### ・ 製造品出荷額等が増加

平成25年以降、日銀の金融緩和策やアベノミクスによる政策により国内経済は回復基調で推移していることや、これまでの取組のより成果が出始めてきているものと考えられます。

### ■ 施策に対する市民の実感

「大学や公的研究機関などとの連携や、新事業創出や起業の支援など、工業の振興への取組が行われている」と感じる市民の割合





## ■ これからの課題

製造品出荷額等は、景気動向に左右されるものですが、現状の数値は東北の県庁所在都市では青森市と最下位グループにあります。成果の拡大を図るためには、既存企業の事業拡大及び新たな企業の誘致が必要不可欠であることから、盛岡市工業振興ビジョンに掲げるアクションプランをPDCAサイクルに基づき着実に推進することが求められます。

中小企業の経営基盤安定化が重要であることから、「県保証協会保証付の市及び県の一部の融資制度利用者に対し信用保証料の一部又は全部を市で負担する」支援を継続するとともに、生産の効率化や販路開拓等に向けた支援が必要となります。

また、短い期間で成果向上を図るためには、新たな企業の誘致も必要であり、盛岡テクノパークの空き区画等への入居を積極的に推進する必要があるとともに、産業支援施設である産業支援センター、産学官連携研究センター、新事業創出支援センターを活用した起業家支援及び製品・技術開発支援など、各ステージでの支援を継続し、岩手大学を主とする大学等との産学官連携を一層強化することで、他都市との差別化を図ることが必要となります。

## 施策24 観光の振興

盛岡さんさ踊りやチャグチャグ馬コ等の祭り・イベントの実施、首都圏等での盛岡デーの開催などに加え、広域連携での滞在型観光の促進や海外でのさんさ踊りの披露などにより、盛岡の観光や特産品、文化・暮らしを情報発信するとともに、盛岡ブランド認証商品の販路拡大を図りました。

### ■ 主要事業の実績

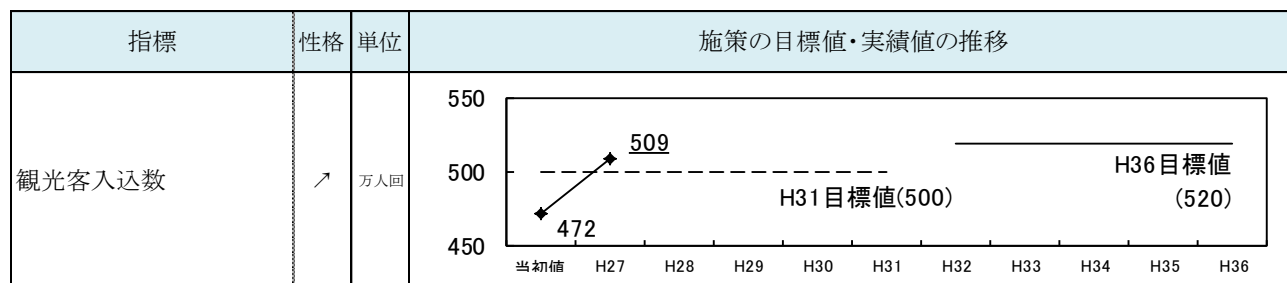
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
盛岡デー等観光PR事業	一般	(★)	盛岡デーなどの開催による総合的な観光PR活動	64	58
祭り・イベント振興事業	一般		伝統行事・祭り支援(盛岡さんさ踊り, チャグチャグ馬コ, 盛岡秋まつり山車など), イベント開催支援(盛岡花火の祭典など)	51	50
物産振興事業	一般	(★)	物産と観光展の開催, 産業まつりの開催, 盛岡特産品ブランドの認証	9	9
MICE誘致推進事業	一般		盛岡広域圏内を主会場として開催する一定規模以上の会議やコンベンションなどに対する補助	24	12
広域観光推進事業	一般		関係団体(岩手県観光協会, 八幡平国立公園協会, 盛岡駅観光案内所など)への支援・補助	14	14
計(一般会計)				162	143

#### ・ MICE誘致推進事業

当初の見込みより対象となる会議が少なかったため、実績額が小さくなりました。

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

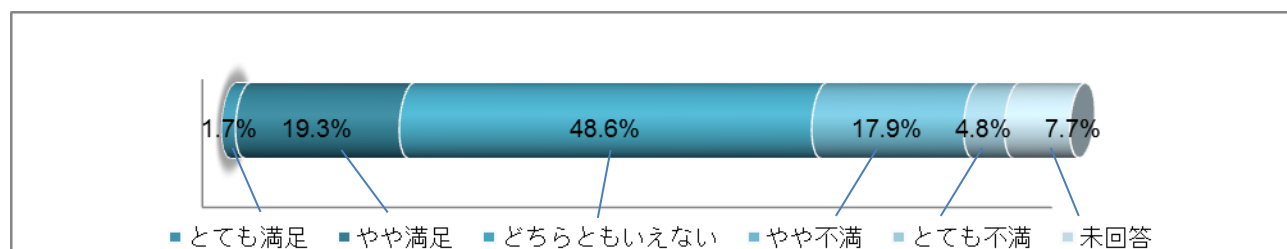


#### ・ 観光客入込数が増加

平成27年は、緩やかな経済回復が継続し、東北新幹線全線開通の効果浸透や各種イベント・祭りの実施などによる日帰り観光客の増加を背景に、4月と11月を除き各月で前年比増を記録し、入込が順調に推移しました。

### ■ 施策に対する市民の実感

「観光地としての魅力が溢れている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

平成27年度を初年度とする観光推進計画に位置付けられた事業の着実な推進が求められており、特に重点化施策である「まちなか観光の推進」、「M I C E 誘致の推進」、「外国人観光客の受入環境の整備」は、他の施策への波及効果が見込まれることから、積極的に対応する必要があります。

また、外国人観光客を誘致するため、ターゲットを絞った継続的なプロモーションが必須であるほか、まちの魅力向上と盛岡ファンを増加するため、盛岡さんさ踊りなど祭り・イベントや観光資源の更なるブラッシュアップに取り組む必要があります。

## 施策25 雇用の創出

「立地セミナー」の開催などにより、県と連携した企業誘致を推進するとともに、就職面接会や高校生向けの研修等の実施、企業に対する雇用拡大要請などにより、雇用対策を行いました。

また、安心して働くことができる環境の整備のため、勤労者福祉対策を行いました。

### ■ 主要事業の実績

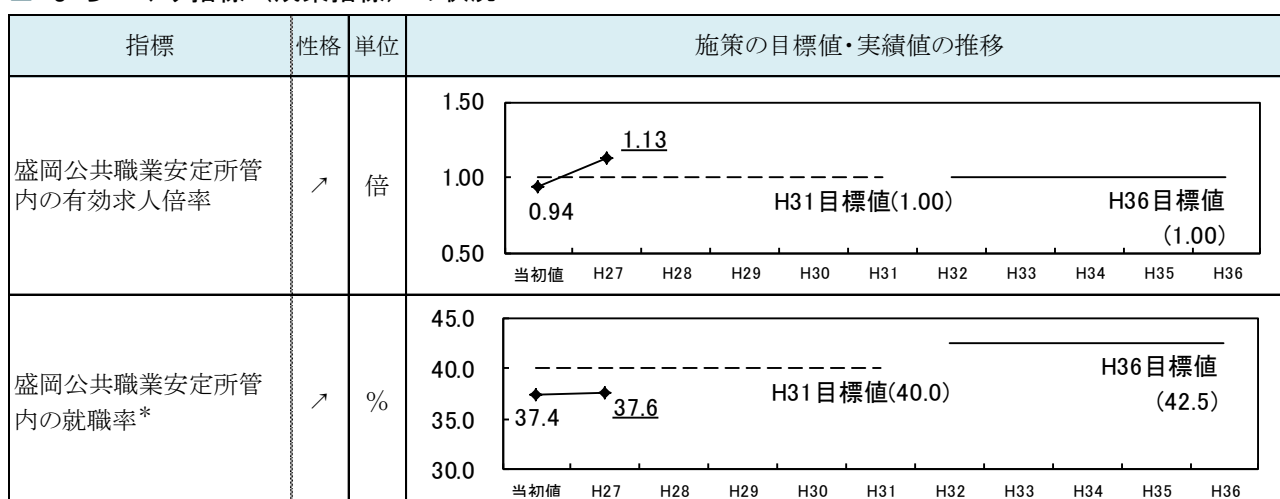
(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
盛岡広域企業誘致推進事業	一般	(★)	情報関連・研究開発・食料品製造系企業などの誘致(新設・拡充含む。)	53	71
雇用対策推進事業	一般		もりおか就職面接会の開催、正規雇用など雇用拡大に向けた取組	2	2
勤労者対策事業	一般		勤労者福祉団体への補助、勤労者向け融資制度の預託	80	75
計(一般会計)				134	148

#### ・ 盛岡広域企業誘致推進事業

工場等新設拡充奨励事業補助金の実績額が見込みを上回ったため、実績額が大きくなりました。

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況



\* 就職率

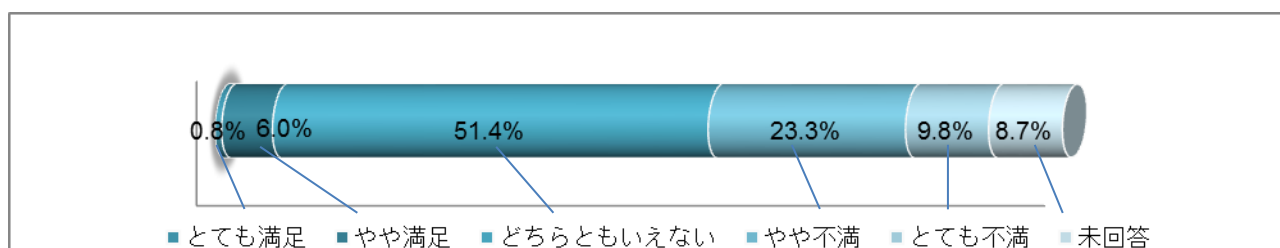
就職率=就職件数÷新規求職申込件数

#### ・ 盛岡公共職業安定所管内の有効求人倍率が増加

県内の経済状況が回復の傾向にあることや、東日本大震災の復興需要などから雇用情勢においても回復の傾向が見られることが要因と考えられます。また、岩手労働局やハローワーク、県、商工会議所などと連携し雇用の場の創出や職場への定着支援に努めたことが要因と考えられます。

### ■ 施策に対する市民の実感

「企業の誘致や雇用対策の取組が行われている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

企業の誘致については、引き続き問い合わせがあることから、対象企業との地道な交渉を続け誘致に結びつけるとともに、IT関連企業や食料品製造業など成長が見込まれる業界を中心に企業訪問を続けていく必要があります。また、産業等用地の残地が少なくなっていることから、新たな産業等用地の確保が必要となっています。

雇用対策の推進については、有効求人倍率が1.0倍超で推移している状況から、雇用のミスマッチ等への対応が課題となります。また、勤労者福祉の充実については、勤労者が活用しやすい融資制度の設計のほか、各種勤労者福祉団体と連携して勤労者が働きやすい職場環境の整備に努めます。

## 施策26 都市基盤施設の維持・強化

道路や橋梁，上下水道について，計画的に整備・補修を行ったほか，市民要望を踏まえ，除雪路線を延長しました。

また，公園の整備やハンギングバスケットの設置により，都市の緑化を進めるとともに，土地区画整理事業，生活環境整備事業，再開発事業等により，良好な市街地環境の形成を推進しました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
建築指導事務	一般		建築確認申請に係る指導啓発，構造計算適合性判断業務委託など	6	6
耐震診断・改修促進事業	一般		大規模建築物の耐震診断に対する補助，木造住宅の耐震診断及び耐震改修に対する補助など	53	23
道路橋りょう維持管理事業	一般		市道舗装補修，道路照明灯電気料など	664	662
橋りょう維持補修事業	一般		上の橋，御厩橋，大島橋，高見橋の補修工事	242	194
道路除排雪事業（除排雪委託ほか）	一般		バス路線及び通学路等の除排雪，主要交差点及び急坂部への凍結防止剤の散布など	652	564
道路除排雪事業（除雪車両等購入費）	一般	(★)	★町内会等へ貸し出す小型除雪機の購入など	20	6
市道舗装新設改良事業	一般	(★)	浅岸19号線などの市道舗装新設改良工事	113	90
身近な暮らしを支える道路整備	一般	(★)	★岩手飯岡駅南公園線，★下田生出線（生出工区），★柞沢橋線，盛岡駅前通線など	1,998	1,508
都市公園整備事業	一般		中央公園・高松公園・岩山公園，盛岡南地区公園などの整備	544	452
旧盛岡競馬場跡地（自由広場ゾーン）整備事業	一般		用地取得，基盤整備工事，下水道工事など	295	293
お城を中心としたまちづくり事業	一般		盛岡城跡石垣修復基本設計，史跡整備実施設計など	17	16
公園等維持管理事業	一般		街路樹・公園施設維持管理，公園遊具更新工事など	219	244
花と緑のまちづくり事業	一般	(★)	★花と緑のガーデン都市づくり，地域緑化支援など	21	21
上水道安全対策事業	水道		重要給水施設配水管の整備	607	404
配水管整備事業	水道		配水能力増強事業，経年管対策事業，未給水地域解消事業，配水調整ブロック整備事業など	1,540	953
水道水源水質保全促進事業	水道		水源かん養林の保全，水源の水質保全など	7	4
浄配水場施設整備事業	水道		浄水場（米内，中屋敷，沢田など）の設備更新，工事など	811	708
鉛製給水管解消事業	水道		鉛製給水管の布設替工事に対する補助	3	1
公共下水道汚水施設整備事業	下水	(★)	汚水管渠の整備など	944	816
流域下水道建設負担金事業	下水		北上川上流流域下水道都南処理区の整備（流域幹線，ポンプ場整備及び処理場施設整備）への負担金	332	151

公共下水道改築更新事業	下水		既存施設の耐震化，更新工事	395	159
浄化槽整備事業	一般	(★)	浄化槽設置に対する補助	12	14
浄化槽設置整備推進事業	浄化槽	★	公設浄化槽の整備	24	14
公共下水道雨水施設整備事業	下水	★	雨水管渠の整備など	924	358
太田地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成，道路 拡幅など	1,383	1,272
都南中央地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成，道路 拡幅など	369	381
道明・下飯岡地区整備事業	一般		建物等移転補償，道路築造，宅地造成，道路 拡幅など	394	377
優良建築物等整備事業	一般		優良建築物等整備事業への補助（中央通二丁 目地区）	181	149
計（一般会計）				7,184	6,272
計（一般会計以外）				5,588	3,569

- ・ **耐震診断・改修促進事業**

耐震診断を予定していた施設が当初の見込みを下回ったため，実績額が小さくなりました。

- ・ **道路除排雪事業（除雪車両等購入費），身近な暮らしを支える道路整備，太田地区整備事業**

国からの交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い，事業費を減額したため，実績額が小さくなりました。

- ・ **上水道安全対策事業，配水管整備事業，浄配水場施設整備事業**

工事実施に当たり，入札不調に伴い工事の取り止めたことや入札差金が生じたことなどにより，事業費を減額したため，実績額が小さくなりました。

- ・ **水道水源水質保全促進事業，鉛製給水管解消事業，浄化槽設置整備推進事業**

申請件数が見込みを下回ったため，実績額が小さくなりました。

- ・ **流域下水道建設負担金事業**

岩手県の交付金事業が大幅に減額になったことに伴い，市の負担額も減額となったため，実績額が小さくなりました。

- ・ **公共下水道汚水施設整備事業，公共下水道改築更新事業，公共下水道雨水施設整備事業**

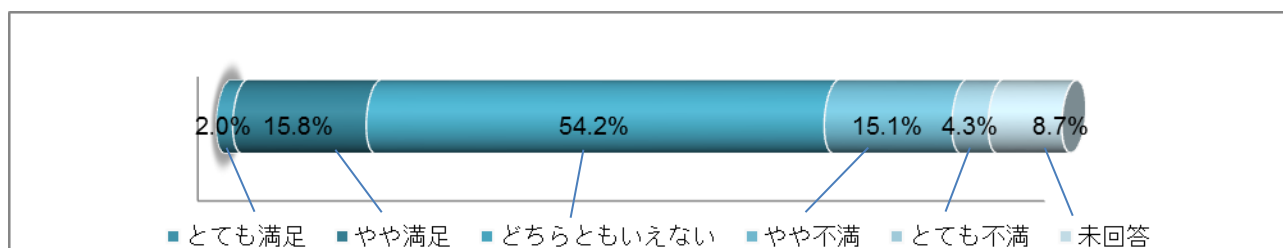
調査結果を基に事業内容の精査を行ったことなどにより，事業費を減額したため，実績額が小さくなりました。

## ■ まちづくり指標（成果指標）の状況

指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
まちづくり評価アンケート調査「公園や街路樹などの街の中の緑が多いと思う」と答えた市民の割合	↑	%	<p>当初値 74.2 H27 74.7 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(80.0) H36目標値(80.0)</p>
水道管路の耐震化率	↑	%	<p>当初値 23.3 H27 24.9 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(29.6) H36目標値(34.6)</p>
汚水処理人口普及率(処理区域内人口/行政区内人口)	↑	%	<p>当初値 95.0 H27 95.2 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(96.0) H36目標値(97.8)</p>
面的整備による生活環境整備率(整備済路線延長/整備計画路線延長)	↑	%	<p>当初値 29.0 H27 30.5 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(63.0) H36目標値(97.0)</p>

## ■ 施策に対する市民の実感

「快適で暮らしやすい居住環境が整っている」と感じる市民の割合



## ■ これからの課題

### ・ 良好な住宅地の誘導

熊本地震の影響により耐震診断に対する意識が高まっていると推測されることから、戸別訪問を継続実施し耐震診断の必要性について啓発を図ります。

### ・ 安全・快適な道路環境向上や既成市街地の環境整備

国からの交付金の予算が十分確保できていないことから、国へ安定的な財源確保の要望を継続して実施します。



- **都市公園の整備と利用促進及び都市緑化の推進**

公園整備の促進や、市民がより緑化に取り組みやすくするために市としての支援が必要です。また、公園や街路樹の維持管理について市民からの要望が多く、市として実施しなければならない部分は確実に実行しなければなりません。

- **安定給水の確保**

計画した工事を実施できるよう、不調になりにくい発注方法について検討する必要があります。

- **汚水処理の充実**

未整備地区は郊外が多く投資効果が低いことから、効率的な管路整備を実施する必要があります。また、整備済み地区においても下水道への接続促進を図る必要があります。

- **雨水浸水対策の推進**

雨水幹線の整備による浸水対策には時間を要することから、短期的に対応できる対策を検討し対応します。

## 施策27 交通環境の構築

公共交通機関の利便性向上と利用促進のため、「まちなか・おでかけパス」や駅周辺の施設整備などを実施しました。

また、幹線街路の整備を進めたほか、自転車走行空間の整備を行い、安全と利用促進を図りました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

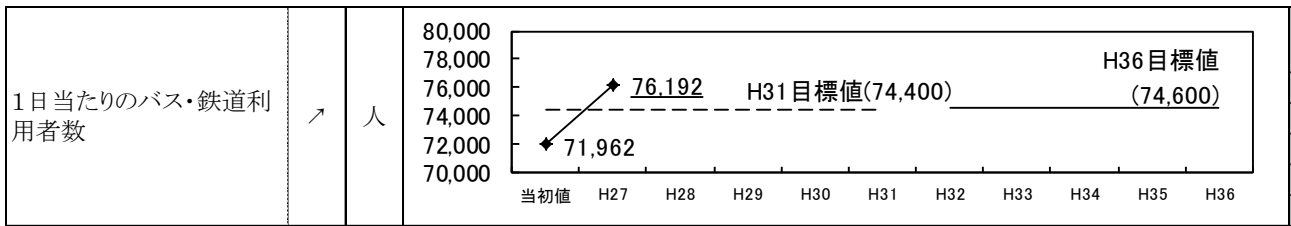
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
公共交通利用促進対策事業 (整備関連)	一般	(★)	盛岡駅西口バス乗り場整備事業, J R 山田線 増便及び接続バス運行社会実験など	105	104
公共交通利用促進対策事業 (バス関連事務)	一般		盛岡駅前広場誘導業務委託, 広域生活交通路 線維持事業補助金など	9	9
自転車の安全と利用促進に 関する事業	一般		自転車ネットワーク計画の策定	0	0
都市の骨格を形成する街路 事業	一般	(★)	★梨木町上米内線(第Ⅱ工区), ★明治橋大 沢川原線(大通工区), ★盛岡駅青山線(前九 年Ⅱ工区) など	1,259	909
計(一般会計)				1,372	1,022

#### ・ 都市の骨格を形成する街路事業

国からの交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い、事業費を減額したため、実績額が小さくなりました。

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況

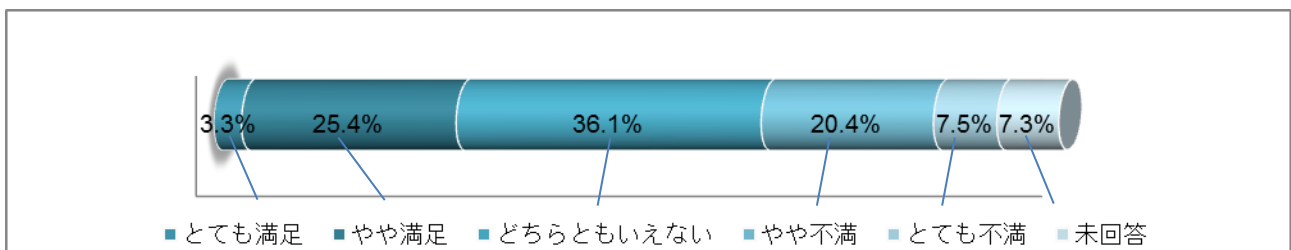
指標	性格	単位	施策の目標値・実績値の推移
平日の主要幹線道路の混雑度	↘	割合	<p>当初値 1.11, H27 1.04, H31目標値(1.09), H36目標値(1.08)</p>
交通の手段分担率の変化 (自動車)	↘	%	<p>当初値 59.3, H27 63.9, H31目標値(56.0), H36目標値(53.0)</p>
交通の手段分担率の変化 (バス, 鉄道)	↗	%	<p>当初値 14.7, H27 12.5, H31目標値(17.0), H36目標値(19.0)</p>
交通の手段分担率の変化 (徒歩, 自転車など)	↗	%	<p>当初値 26.0, H27 23.6, H31目標値(27.0), H36目標値(28.0)</p>



- 平日の主要幹線道路の混雑度が減少**  
 幹線道路の整備とあわせ、公共交通等の利用促進施策の推進が混雑度を下げている要因と考えられます。
- 交通の手段分担率の変化（自動車の増加，バス，鉄道，徒歩及び自転車などの減少）**  
 調査方法が抽出アンケート方式でばらつきもあるため経年の傾向として見ていく必要がありますが、「まちなか・おでかけパス」による高齢者のバス利用が増加している一方、通勤者に対する「マイカーから公共交通に転換」の取り組みが十分行き渡っていない可能性もあり、更なる検証が必要と考えられます。
- 1日当たりのバス・鉄道利用者数が増加**  
 「まちなか・おでかけパス」の利用者が増加しており、バスを中心とした公共交通等の施策推進により、バス・鉄道利用者数が増加したと考えられます。

### ■ 施策に対する市民の実感

「幹線道路や公共交通機関が利用しやすい」と感じる市民の割合



### ■ これからの課題

- 公共交通機関の利便性向上と利用促進**  
 引き続き「まちなか・おでかけパス」やバス待ち環境の改善などのバス利用促進策を継続するとともに、通勤時の交通手段分担率が十分な成果を上げていないことから、利用者の属性別、目的別などの利用状況を分析し、通勤者等ターゲットを絞った効果的な利用促進施策を検討する必要があります。また、鉄道利用については、利用者数が増加に転じるよう駅周辺の施設整備や鉄道利用促進に係る支援などの施策を推進するとともに、効果的なモビリティ・マネジメントによる利用促進に取り組みます。
- 自転車，歩行者のための交通環境の充実**  
 快適な自転車の走行環境を整えるため、平成27年度に策定した『盛岡市自転車ネットワーク計画』を基に、自転車走行空間の整備を今後も進めます。また、整備促進のため経済的、効果的な整備手法の検討を行います。
- 都市活動を支える幹線道路の整備**  
 交通環境の安全性、快適性向上のため、計画的な整備を継続して進めます。

## 施策28 国際化の推進

ビクトリア市との姉妹都市30周年記念事業や諸外国との各種交流事業を行い、国籍や文化の違いを超えた相互理解に対する市民意識の醸成を図りました。

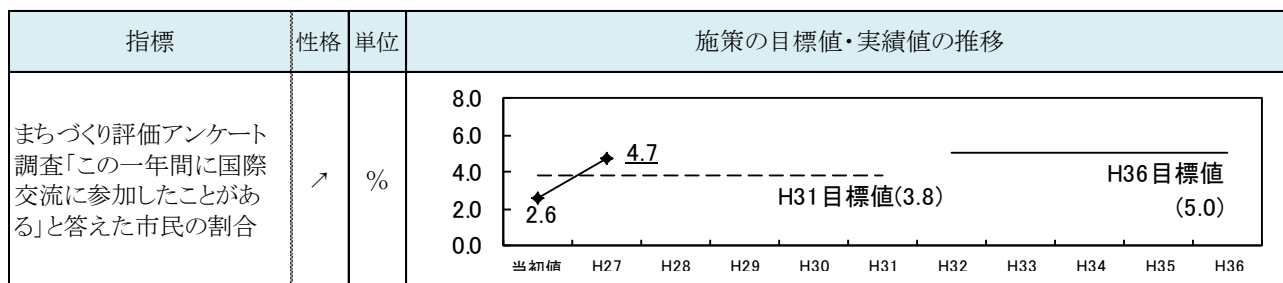
また、国際リニアコライダーの建設実現を目指した活動として、市民向けの講演会を開催し、より多くの市民へ周知しました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

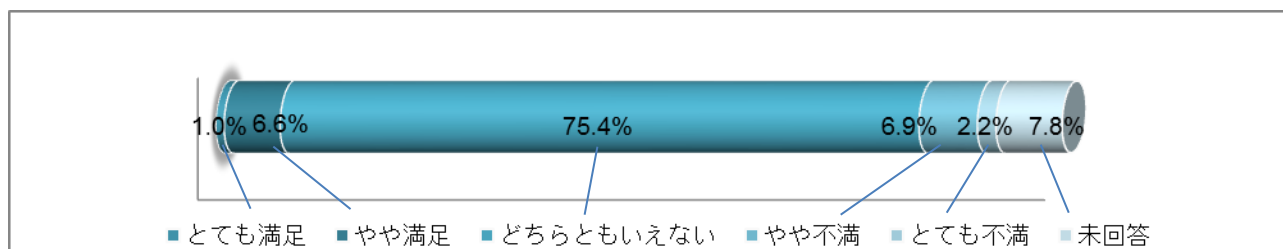
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
姉妹都市等国際交流事業	一般	★	姉妹都市カナダ・ビクトリア市との交流や諸外国との各種交流事業	18	15
国際交流関係事業	一般		アールム大学からの短期留学生の受入れ、市立中高生をアールム大学へ派遣	2	2
計(一般会計)				20	18

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況



### ■ 施策に対する市民の実感

「異文化にふれ国際交流に参加する機会が充実している」と感じる市民の割合



### ■ これからの課題

#### ・ 国際交流の推進

国際交流の事業が固定化しており、国際交流協会の魅力が薄れていることから、魅力ある事業の展開と情報発信が必要となります。

#### ・ 国際都市づくりの推進

幅広い世代が関心を持てるような周知、PRと県や関係市町との連携した周知活動が必要となります。

## 施策29 都市間交流の促進

いわて・盛岡デー・イン・沖縄の開催，函館グルメサーカスへの出展などを通じ，都市間の相互理解を促進しました。

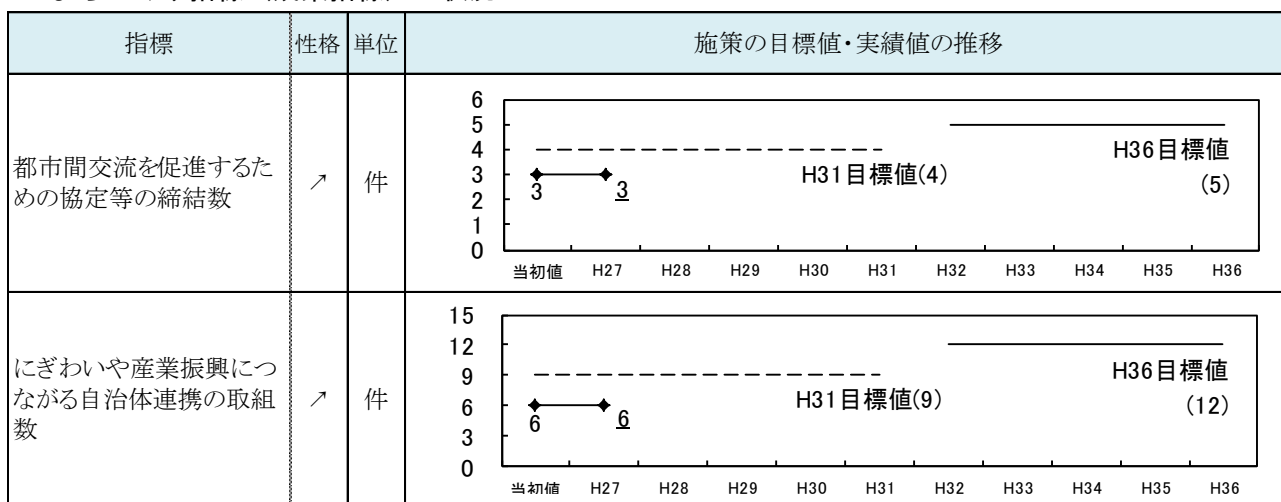
また，盛岡広域圏を構成する市町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結するとともに，「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定し，広域連携に向けた取組を進めました。

### ■ 主要事業の実績

(単位 百万円)

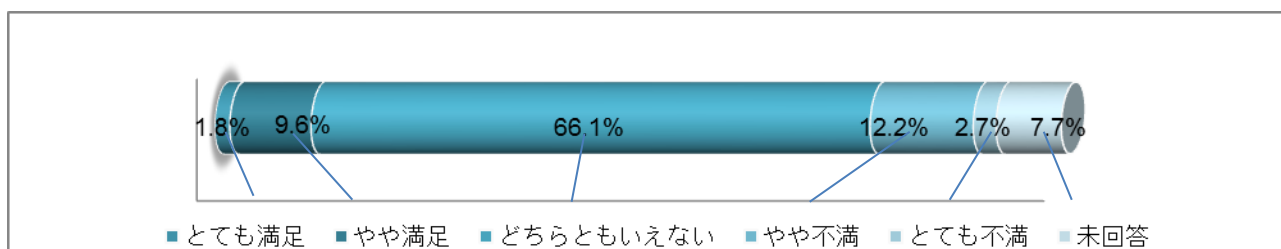
主要事業	会計区分	新市	事業の内容	計画額	実績額 (繰越含)
地域連携交流事業	一般		盛岡藩港・宮古港開港400周年記念事業や，地域間交流の活性化を目的とする諸活動(秋田岩手地域連携軸推進協議会など)	1	1
広域連携推進事業	一般		盛岡市・玉山村合併10周年記念事業や，ご当地ナンバー導入事業など	4	3
計(一般会計)				5	4

### ■ まちづくり指標(成果指標)の状況



### ■ 施策に対する市民の実感

「都市間の交流が盛んになり，まちのにぎわい」を感じる市民の割合



### ■ これからの課題

#### ・ 都市間交流の促進

さまざまな機会をとらえて，都市間の交流の機会を増やします。また，函館グルメサーカスへの継続参加のほか，学習旅行の誘致など，都市間交流の裾野を広げ，市民レベルでの交流を促進します。

#### ・ 地域間連携の推進

連携の強化を図るため，「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」に掲げる事業を推進する必要があります。

## 2 戦略プロジェクト

### 子育て応援プロジェクト（取組期間：平成27年度～29年度）

若い世代や子育て世代が、希望を持って子どもを産み育てることができ、盛岡に住みたい、住み続けたいと思えるよう、さまざまな保育ニーズに柔軟に対応するための支援を行うなど、子育て環境の充実を図ります。

また、子どもの健やかな成長の支援や育児不安の解消を通じて子育て世代を応援し、子育てにやさしいまち盛岡を実現します。

#### 重点事業の実績

（単位 千円）

重点事業名	施策	計画額	実績額
私立児童福祉施設整備助成事業	2	0	0
待機児童解消強化事業	2	16,324	9,697
地域児童クラブ等運営事業（放課後児童クラブ整備費補助）	2	8,632	22,484
特別保育事業（延長保育実施施設の拡充）	2	346,232	99,560
保育士等処遇改善臨時特例事業	2	104,744	205
子どものための教育・保育給付事業	2	743,510	862,627
子ども・子育て支援事業計画推進事業	2	1,384	3,211
乳児家庭全戸訪問等事業	2	3,889	3,688
雇用対策推進事業	25	1,861	1,754
小児救急輪番制病院事業	2	198,212	154,181
夜間急患診療所管理運営事業	4	67,326	66,897
妊産婦医療費給付事業	2	96,797	87,231
乳幼児医療費給付事業	2	385,402	381,894
小学生医療費給付事業	2	12,110	15,894
計		1,986,423	1,709,323

- ・ 私立児童福祉施設整備助成事業

予定していた事業を平成26年度に前倒しして実施しました。

- ・ 特別保育事業（延長保育実施施設の拡充）、保育士等処遇改善臨時特例事業

平成27年4月にスタートした「子ども・子育て支援新制度」により、延長保育や保育士等処遇改善に係る経費が、私立児童福祉施設等運営事業に移行したため、実績額が小さくなりました。

（参考）私立児童福祉施設等運営事業の平成27年度実績

（単位 千円）

事業名	施策	計画額	実績額
私立児童福祉施設等運営事業 （延長保育基本分と保育士等処遇改善を含む）	2	4,799,427	5,404,484

## ■ 指標の状況

指標項目	性 格	単 位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	29年度 目標
待機児童数	↓	人	54 (H26. 4. 1)	9 (H27. 4. 1)	0 (H28. 4. 1)	0
まちづくり評価アンケート調査「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合	↓	%	19.2	19.3	22.0	16.4
まちづくり評価アンケート調査「盛岡市の子育て支援策・支援活動が充実していると感じる」と答えた市民の割合	↑	%	17.0	15.5	13.3	30.2

## ■ 主な取組と課題（28年度の取組内容を含んでいます。）

### ・ 待機児童解消への取組

認定こども園等運営費給付事業において、28年4月までに4園の認定こども園と、3園の地域型保育事業実施施設が対象となったことから、前年より98人、認可保育所の新設等による定員拡大と合わせると、前年より合計で168人の定員拡大となりました。

これにより、28年4月1日時点で待機児童数は0人となったものの、特定の保育所を希望するなどの理由により保育所に入所できていない空き待ち児童が298人いることから、引き続き、保育施設等の整備を進めるとともに、保育士の確保についても取り組む必要があります。

### ・ 育児不安解消への取組

保健師，助産師，社会福祉士を配置した「子育て世代包括支援センター」を設置し，妊娠・出産・育児期における切れ目ない支援体制を整備するとともに，乳児家庭全戸訪問を段階的に拡充するなど，育児不安の軽減に取り組んできましたが，「子育てをつらいと感じている」と答えた子どものいる親の割合が，19.3%（H26）から22.0%（H27）と増加しています。

子育て世代包括支援センターにおいて，妊産婦等に対し，包括的な相談・支援を提供するとともに，年度内に開所を予定している「子育て応援プラザ」を子育て中の親が集える場や子育てを支える市民，団体等が活動，交流できる場とすることで，育児不安の解消や子育てに対する孤立感や負担感の解消を図っていく必要があります。

## きらり盛岡おでんせプロジェクト（取組期間：平成27年度～29年度）

歴史、自然、文化、先人、まち並みをはじめとする、本市の恵まれた観光資源を生かし、盛岡の魅力に触れ、満足してもらうため、新たな観光資源の開発や掘り起こし、ブラッシュアップを推進します。

また、北陸、北海道新幹線の開業による環境の変化に対応するとともに、更なる交流人口の増加と盛岡ファンづくりを推進します。

### 重点事業の実績

（単位 千円）

重点事業名	施策	計画額	実績額
盛岡ブランド確立事業	14	3,397	3,368
盛岡三大麺普及事業	22	295	295
盛岡デー等観光PR事業 （誘客重点市場・物産販路新規開拓調査事業）	24	1,000	1,000
盛岡デー等観光PR事業 （北海道新幹線開業による観光交流・誘客促進事業）	24	637	637
盛岡デー等観光PR事業 （東北六都市連携による誘客・地域産品プロモーション事業）	24	450	450
MICE誘致推進事業	24	24,000	11,750
<b>計</b>		<b>29,779</b>	<b>17,500</b>

#### ・ M I C E 誘致推進事業

当初の見込みより対象となる会議が少なかったため、実績額が小さくなりました。

### 指標の状況

指標項目	性 格	単 位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	29年度 目標
観光客入込数	↑	万人 回	472	497	509	490
まちづくり評価アンケート調査「盛岡が好き」と答えた市民の割合	↑	%	78.0	80.4	77.7	79.4
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↑	位	74	58	63	53

### 主な取組と課題（28年度の実績を含んでいます。）

#### ・ M I C E 誘致への取組

MICE開催助成制度については、初年度となった27年度は14件のMICE開催に対して助成し、同制度の活用による大会参加者数は、約16,000人となりました。今後においてもMICE件数の増加を図るため、利用しやすい制度の見直しや周知に努めるとともに、観光客の再訪につなげる新たな観光資源の開発や掘り起こしに取り組む必要があります。



- ・ **観光客誘致への取組**

年間観光客入込数については、約509万人回と、前年を約12万人回上回り、5年連続増加となりましたが、宿泊客数は6年振りに前年比マイナスとなる約96万人泊となったことから、引き続き、観光客入込数を伸ばすとともに、宿泊客数の増加に向けた取組を進める必要があります。

また、教育旅行来校数（延べ校数）は、1,104校（H26）から949校（H27）と前年を大きく下回りました。東日本大震災後の北海道からの中学校の来訪の減少は回復基調にありますが、他県への訪問先変更の動きがあるほか、宮城県などからの来訪が減っていることから、広域連携による誘致活動の一層の強化を図る必要があります。

- ・ **外国人観光客等受入環境整備への取組**

外国人観光客入込数は、9,691人回（H26）から13,599人回（H27）と前年に比べ4割増加しました。今後においては、更なる外国人観光客の誘致促進に向けて、観光案内板などの多言語表記などの受入環境の整備を図るとともに、関係機関や関係団体などと連携し、積極的な海外プロモーションや宣伝活動を行う必要があります。

## いわて国体おもてなしプロジェクト（取組期間：平成27年度～28年度）

「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」に来盛する方々を「おもてなしの心」で温かく迎え、盛岡の魅力を全国に発信するとともに、すべての市民がスポーツに親しみ、スポーツを通じて健康でいきいきと暮らすことができるまちづくりを推進します。

また、ボランティアや市民協働による組織等が一体となって「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」を成功へと導きます。

### 重点事業の実績

（単位 千円）

重点事業名	施策	計画額	実績額
国民体育大会開催事業	13	635,981	504,787
市民運動総括事業	9	1,489	1,489
スポーツ・パル制度事業	13	1,755	1,571
盛岡の食材プロモーション事業	21	2,300	2,300
盛岡広域連携スポーツツーリズム推進事業	13	585	522
国民体育大会開催関連スポーツ施設整備事業	13	1,329,457	1,326,819
身近な暮らしを支える道路事業 （盛岡駅東口駅前広場整備事業）	26	66,000	143,038
公共交通利用促進対策事業 （盛岡駅西口バス乗り場整備事業）	27	100,000	100,000
都市公園整備事業 （木伏緑地施設改修整備事業）	26	20,000	29,324
<b>計</b>		<b>2,157,567</b>	<b>2,109,850</b>

#### 国民体育大会開催事業（希望郷いわて国体・希望郷いわて大会盛岡市実行委員会補助金）

業務委託に当たり、入札差金が生じたことや、冬季大会における除排雪費用が不要になったことなどにより、補助の対象となる事業費が当初の見込みを下回り、実績額が小さくなりました。

### 指標の状況

指標項目	性 格	単 位	25年度 実績	26年度 実績	27年度 実績	28年度 目標
ボランティア登録者数	↑	人	—	148	2,016	2,000
まちづくり評価アンケート調査「週1回以上スポーツをしている」と答えた市民の割合	↑	%	31.1	28.8	28.9	47
地域ブランド調査「魅力度における盛岡市の順位」	↑	位	74	58	63	53

■ 主な取組と課題（28年度の取組内容を含んでいます。）

・ **大会の成功**

多くの市民がボランティアで参加するなど、市民一丸となって全国から訪れる方々を心のこもったおもてなしでお迎えするとともに、特色ある地元の食材を紹介するなど盛岡の魅力を十分に全国にアピールすることができ、「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」が大成功に終わりました。

・ **スポーツ環境等の整備**

通年型スケートリンクであるみちのくコココーラボトリングリンクの新設により、冬季大会が円滑に実施されたほか、国体開催を契機に、太田テニスコート、盛岡タカヤアリーナの整備が推進され、スポーツ環境の向上が図られました。

また、盛岡駅東口の駅前広場（タクシープール側）の改善や、盛岡駅東口及び盛岡駅西口バス乗り場へのエレベーターの設置など、バリアフリー化が図られました。

### 3 計画額と実績額の差が1億円以上となった主要事業

計画額との差が1億円以上となった主要事業と、その主な増減理由は、次のとおりです。

(単位 百万円)

基本目標 施策  主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援  私立児童福祉施設等運営事業	4,799	5,404	605	子ども・子育て支援新制度により、休日保育加算等が特別保育事業から当該事業に移行したほか、療育支援加算等、運営費の加算項目が増加したため。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 2 子ども・子育て、若者への支援  特別保育事業	471	180	△291	子ども・子育て支援新制度により、休日保育加算等が当該事業から私立児童福祉施設等運営事業に移行したため。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実  介護保険事業（施設整備）	385	133	△252	補助金を活用して施設整備を行う事業者が当初の見込みを下回ったため、減額になったもの。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 3 高齢者福祉の充実  介護保険事業（特別会計）	22,345	23,061	716	要介護認定者の増加に伴い、介護給付費が増加したため。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実  国民健康保険事業（繰出金）	1,959	2,090	131	保険税の軽減基準が拡大され、負担額が計画額を上回ったことから、保険基盤安定繰出金が増額になったもの。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 4 健康づくり・医療の充実  国民健康保険事業（特別会計）	31,626	31,832	206	26年度収支差額を、財政調整基金基金に積み立てたことから事業費が増額になったもの。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実  介護給付等給付事業	2,531	2,740	209	利用実績が当初の見込みを上回ったため、事業費が増額になったもの。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 5 障がい者福祉の充実  訓練等給付事業	1,809	1,953	144	利用実績が当初の見込みを上回ったため、事業費が増額になったもの。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援  生活保護事業	7,976	7,589	△387	生活保護基準の見直しや就労支援事業等による稼働年齢層世帯の自立等により、被保護者数等が見込みを下回り、扶助費の支出が減額となったため。
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 6 生活困窮者への支援  公営住宅整備事業	1,129	932	△197	入札差金（設計額と契約額の差）が生じたため、事業費が減額になったもの。
II 盛岡の魅力があふれるまちづくり 13 スポーツの推進  国民体育大会開催事業	645	514	△131	業務委託に係る入札差金や除排雪費用が不要になったことなどにより、補助の対象となる事業費が当初の見込みを下回ったため。

(単位 百万円)

基本目標 施策 主要事業名	計画額 A	実績額 B	増減額 B-A	主な増減理由
Ⅲ 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小学校整備事業	925	664	△261	土淵小中学校施設整備事業において、用地交渉に不測の日数を要したことから、当該経費を改めて28年度当初予算に計上したため。
Ⅲ 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小中学校耐震診断・改修事業	1,538	1,370	△168	入札差金の発生及び施工内容の精査を行ったことなどにより、事業費が減額となったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える道路整備	1,998	1,508	△490	国の社会資本整備総合交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い、事業費を減額したものの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 上水道安全対策事業	607	404	△203	予定路線の入札不調や入札差金が生じたため、事業費が減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 配水管整備事業	1,540	953	△587	入札不調に伴う工事の取り止めや他事業の計画変更に伴う工事の取り止め、施工規模の縮小などにより、事業費が減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 浄配水場施設整備事業	811	708	△103	予定していた一部工事の取り止めや設計額が減額になったことなどにより、事業費が減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道汚水施設整備事業	944	816	△128	事業内容の精査を行ったことなどにより、事業費が減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 流域下水道建設負担金事業	332	151	△181	岩手県の国庫補助事業が大幅に減額になったことに伴い、市の負担額も減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道改築更新事業	395	159	△236	調査結果を基に事業内容の精査を行ったことなどにより、事業費が減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 公共下水道雨水施設整備事業	924	358	△566	事業内容の精査を行ったことなどにより、事業費が減額になったもの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 太田地区整備事業	1,383	1,272	△111	国の社会資本整備総合交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い、事業費を減額したものの。
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 27 交通環境の構築 都市の骨格を形成する街路事業	1,259	909	△350	国の社会資本整備総合交付金の交付額が当初の見込みを下回ったことに伴い、事業費を減額したものの。

(備考) 「実績額」は、平成28年度への繰越額を含む額を記載しています。

#### 4 平成27年度完了事業

平成27年度をもって事業が完了した主要事業は、次のとおりです。

##### ■ 事業自体が完了したもの（1事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	事業 期間	全 体 事業費	H27 実績額	備考 (繰越内訳等)
IV 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化  浄化槽設置整備推進事業	玉山地域の公共下水道計画及び農業集落排水事業の区域外の地域を対象とした市町設置型浄化槽の整備 整備数 126基	H19~27	144	14	

##### ■ 事業は継続するが、構成事業が完了したもの（14事業）

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名 構成事業名	事業内容	事業 期間	全 体 事業費	H27 実績額	備考 (繰越内訳等)
I 人がいきいきと暮らすまちづくり 9 地域コミュニティの維持・活性化 コミュニティ施設建設事業					
再生可能エネルギー設備設置 事業	再生可能エネルギー設備の設置 (太田地区活動センター)	H27	26	26	
II 盛岡の魅力があふれるまちづくり 13 スポーツの推進 国民体育大会開催関連スポーツ 施設整備事業					
通年型スケートリンク整備事 業	市アイスリンクの整備 鉄骨造平屋建 延床面積4,164.48㎡ スケートリンク1面 カーリングシート2面	H25~27	2,120	1,190	
III 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小学校整備事業					
玉山小学校施設整備事業	玉山小学校施設整備 (屋内運動場床, トイレの改修)	H27	14	14	
再生可能エネルギー設備整備 (小学校)	再生可能エネルギー設備の設置 (城南小, 好摩小, 北松園, 山王小)	H25~27	149	102	
III 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 中学校整備事業					
再生可能エネルギー設備整備 (中学校)	再生可能エネルギー設備の設置 (飯岡中, 見前中)	H25~27	71	36	
III 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 学校プール整備事業					
土淵小学校プール耐震改修	土淵小・中学校のプール等改修工事	H26~27	78	75	

(単位 百万円)

施策の柱 施策 主要事業名	事業内容	事業 期間	全 体 事業費	H27 実績額	備考 (繰越内訳等)
構成事業名					
Ⅲ 人を育み未来につなぐまちづくり 17 子どもの教育の充実 小中学校耐震診断・改修事業					
城東中学校校舎改築	城東中学校校舎改築事業 (校舎改築, グラウンド整備)	H21~27	1,143	30	
耐震補強設計・工事 (小学校)	第二次耐震診断結果に基づき, 耐震補強又は改築の必要がある小学校施設について, 耐震工事を実施した。 20校	H24~27	1,533	828	耐震補強工事 6校
耐震補強設計・工事 (中学校)	第二次耐震診断結果に基づき, 耐震補強又は改築の必要がある小学校施設について, 耐震工事を実施した。 9校	H24~27	729	159	耐震補強工事 1校
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 耐震診断・改修促進事業					
耐震対策緊急促進事業	大規模建築物(施設)の耐震診断に対する補助 施設数 4施設	H26~27	41	21	1施設
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 身近な暮らしを支える道路整備					
旧競馬場跡地関連道路整備事業	旧競馬場跡地内の東西連絡道路及び南北アクセス道路等の整備 総延長 1,050m	H14~27	944	144	工事費及び点 字ブロック設 置費
みたけ4号線(第一工区)	谷地頭から旧J T工場跡地をつなぐ道路の歩道, 自転車走行帯の整備 延長 480m, 幅員 11.3m	H23~H27	331	156	用地測量費, 用地費及び工 事費
仙北町駅自由通路エレベーター	仙北町駅の東西をつなぐ自由通路のエレベーター設置, ロードヒーティング整備	H23~H27	169	17	
Ⅳ 人が集い活力を生むまちづくり 26 都市基盤施設の維持・強化 優良建築物等整備事業					
中央通二丁目地区優良建築物等整備事業	土地利用の共同化・高度化などに寄与する優良な建築物の整備に対する補助 建物名 デュオヒルズ盛岡中央通	H25~27	439	149	

- (備考) 1 全体事業費及び実績額ともに, 四捨五入しています。  
2 全体事業費及び実績額が 100万円未満の場合は, 切り上げています。  
3 「実績額」は, 平成28年度への繰越額を含む額を記載しています。  
4 平成28年度へ繰越す事業についても, 平成27年度の完了事業扱いとします。

## 5 自治体経営の取組

自治体経営の取組では、盛岡市総合計画の基本構想に掲げる「目指す将来像」の実現に向け、4つの自治体経営の理念のもと、5つの方針を定め、必要な取組を推進しています。

また、取組の推進に当たっては、まちづくりの取組と同様に指標を設定し、目標を定めて進捗を図っています。

### 方針1 市民参画や協働によるまちづくり

市民、町内会・自治会、NPO、企業、行政といったさまざまな主体がそれぞれの特性をいかし、連携・役割分担しながら市民参画や協働によるまちづくりに取り組みました。

#### ■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 協働の環境整備													
取組名		主な取組内容											
協働推進のための仕組みづくり		「盛岡市市民協働推進指針」に定める基本方針の実現に向け、「第2次盛岡市地域協働推進計画」を策定しました。											
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移										
市民協働による事業の件数	↑	件	<table border="1"> <caption>市民協働による事業の件数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>233</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>226</td> </tr> <tr> <td>H31 目標値</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>H36 目標値</td> <td>280</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	233	H27	226	H31 目標値	260	H36 目標値	280
年度	値												
当初値	233												
H27	226												
H31 目標値	260												
H36 目標値	280												

推進項目Ⅱ 公民連携の推進													
取組名		主な取組内容											
民間委託、指定管理者制度等の活用		27年4月に1施設、9月に1施設が新たに指定管理者制度に移行しました。また、民間委託については、可燃ごみ収集車2台の委託を実施しました。											
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移										
公の施設に対する指定管理者制度導入率	↑	%	<table border="1"> <caption>公の施設に対する指定管理者制度導入率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>29.0</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>28.7</td> </tr> <tr> <td>H31 目標値</td> <td>29.5</td> </tr> <tr> <td>H36 目標値</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	29.0	H27	28.7	H31 目標値	29.5	H36 目標値	30.0
年度	値												
当初値	29.0												
H27	28.7												
H31 目標値	29.5												
H36 目標値	30.0												

推進項目Ⅲ 広聴機能の充実													
取組名		主な取組内容											
市民ニーズの積極的な把握		まちづくり懇談会の開催、市民の提案箱等による市民ニーズの把握のほか、パブリックコメント制度及びパブリックインボルブメント制度の活用による政策形成過程における公営の確保と透明性の向上に努めました。											
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移										
まちづくり評価アンケート調査「市民意見が市政に反映されている」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>まちづくり評価アンケート調査「市民意見が市政に反映されている」と答えた市民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>21.4</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>24.7</td> </tr> <tr> <td>H31 目標値</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>H36 目標値</td> <td>40.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	値	当初値	21.4	H27	24.7	H31 目標値	30.0	H36 目標値	40.0
年度	値												
当初値	21.4												
H27	24.7												
H31 目標値	30.0												
H36 目標値	40.0												



推進項目Ⅳ 分かりやすい行政情報の提供																		
取組名		主な取組内容																
伝わる情報提供の推進		「広報もりおか」の発行、公式ホームページ、ツイッター、フェイスブック及びラジオ放送などを活用し、市政広報を行いました。また、職員の意識向上を図るため、パブリシティ研修、ホームページ作成研修等を実施しました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
まちづくり評価アンケート調査「「広報もりおか」をいつも読んでいます」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>指標1: 広報もりおかをいつも読んでいますと答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>50.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	50.1	-	H27	50.3	-	H31	-	60.0	H36	-	60.0
年度	実績値	目標値																
当初値	50.1	-																
H27	50.3	-																
H31	-	60.0																
H36	-	60.0																
盛岡市公式ホームページのトップページのアクセス数	↑	件	<table border="1"> <caption>指標2: 盛岡市公式ホームページのトップページのアクセス数</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>140,207</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>83,162</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>175,000</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>210,000</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	140,207	-	H27	83,162	-	H31	-	175,000	H36	-	210,000
年度	実績値	目標値																
当初値	140,207	-																
H27	83,162	-																
H31	-	175,000																
H36	-	210,000																

## 方針2 経営資源配分の最適化

行政評価システムの活用やアセットマネジメントの推進により、限られた経営資源配分の最適化を図るとともに、常に仕事の進め方を見直し、事務改善を進めることにより、低コストで高品質なサービスの提供に努めました。

### ■ 主な取組，指標の状況

推進項目Ⅰ 予算配分の最適化			
取組名		主な取組内容	
行政評価システムの運用・改善		3つの「戦略プロジェクト」に係る事中評価を、ロジックモデルシートを活用した評価手法により新たに実施しました。	
予算編成方法の改善		「戦略プロジェクト」の推進を図るため、従来の施策別に重点化を行う方法を2年間で見直すこととしました。また、28年度の当初予算編成においては、見直しの一環として、事務事業単位の予算査定を実施し、経費の総点検を行いました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
小施策評価における改革改善案の実施率*	↑	%	<p>120 100 80 60</p> <p>H36目標値(100.0)</p> <p>H31目標値(75.0)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

\* 27年度から新しく設定した指標です。当初値、実績値は今後把握します。

推進項目Ⅱ アセットマネジメントの推進			
取組名		主な取組内容	
公共施設保有の最適化と長寿命化（建築物系施設）		「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」及び「同実施計画」を策定しました。「盛岡市長寿化工事実施マニュアル」及び「施設保全マニュアル」を策定しました。	
公有財産の適正管理		財産台帳の整備を進めたほか、庁舎については、老朽化や社会環境の変化に対応した機能の維持・向上に努めました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
施設保有量の適正化(人口一人当たりの公共施設延べ床面積)	↘	m <sup>2</sup>	<p>4.0 3.5 3.0</p> <p>3.6</p> <p>3.5</p> <p>H31目標値(3.5未満)</p> <p>H36目標値(3.5未満)</p> <p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

推進項目Ⅲ 事務改善の推進																		
取組名		主な取組内容																
業務プロセス・手段の改善		第6回改革改善事例発表会を開催しました。また、庁内報「カイゼン通信」を月に1回程度継続発行しました。																
窓口サービスの向上の推進		接遇マニュアルの改訂、窓口利用者アンケートの実施・評価を行いました。また、接遇研修や接遇マイスターを中心とした職場研修を行いました。																
証明書等コンビニ交付サービスの導入		国が進める社会保障・税番号制度に伴う個人番号カードを活用して、コンビニエンスストアでの証明書発行に係るシステム構築の検討を行いました。																
電子市役所の構築		総合型GISシステムの再構築を進めました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
職員アンケート調査「この一年間に自らの業務の改善に取り組んだ」と答えた職員の割合*	↑	%	<table border="1"> <caption>職員アンケート調査「この一年間に自らの業務の改善に取り組んだ」と答えた職員の割合*</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>50.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>50.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>80.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	50.1	-	H27	50.1	-	H31	-	80.0	H36	-	100.0
年度	実績値	目標値																
当初値	50.1	-																
H27	50.1	-																
H31	-	80.0																
H36	-	100.0																
窓口利用者アンケート調査「職員の対応が満足」と答えた市民の割合	→	%	<table border="1"> <caption>窓口利用者アンケート調査「職員の対応が満足」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>94.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	95.0	-	H27	94.8	-	H31	-	95.0	H36	-	95.0
年度	実績値	目標値																
当初値	95.0	-																
H27	94.8	-																
H31	-	95.0																
H36	-	95.0																
窓口利用者アンケート調査「窓口が便利」と答えた市民の割合	→	%	<table border="1"> <caption>窓口利用者アンケート調査「窓口が便利」と答えた市民の割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>95.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>91.1</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>95.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	95.0	-	H27	91.1	-	H31	-	95.0	H36	-	95.0
年度	実績値	目標値																
当初値	95.0	-																
H27	91.1	-																
H31	-	95.0																
H36	-	95.0																

\* 27年度から新しく設定した指標です。当初値は27年度の実績値としています。

### 方針3 健全な財政運営の実現

自治体経営の基本である「最少の経費で最大の効果」を念頭に置きながら、歳入確保の強化、徹底した歳出の見直しにより、中長期にわたり計画的な収支のバランスを図ることにより健全な財政運営を行いました。

#### ■ 主な取組, 指標の状況

推進項目 I 将来負担を意識した財政運営																		
取組名		主な取組内容																
財政指標の目標管理		市債を財源とする事業及び借入額を精査し、「実質公債費比率」及び「将来負担比率」の適正化の持続に努めました。																
市債残高の縮減		市債を財源とする事業及び借入額を精査し、臨時財政対策債を除き予算総額の8%以内かつ元金償還額以内とするよう努めました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
実質公債費比率	→	%	<table border="1"> <caption>実質公債費比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>12.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>10.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>14.0以下</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>14.0以下</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	12.6	-	H27	10.4	-	H31	-	14.0以下	H36	-	14.0以下
年度	実績値	目標値																
当初値	12.6	-																
H27	10.4	-																
H31	-	14.0以下																
H36	-	14.0以下																
将来負担比率	→	%	<table border="1"> <caption>将来負担比率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>89.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>73.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>149.4以下</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>149.4以下</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	89.4	-	H27	73.0	-	H31	-	149.4以下	H36	-	149.4以下
年度	実績値	目標値																
当初値	89.4	-																
H27	73.0	-																
H31	-	149.4以下																
H36	-	149.4以下																
予算総額に対する新規市債発行額(臨時財政対策債を除く)の割合	→	%	<table border="1"> <caption>予算総額に対する新規市債発行額の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>5.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>7.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>8.0以内</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>8.0以内</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	5.4	-	H27	7.0	-	H31	-	8.0以内	H36	-	8.0以内
年度	実績値	目標値																
当初値	5.4	-																
H27	7.0	-																
H31	-	8.0以内																
H36	-	8.0以内																
元金償還額に対する新規市債発行額の割合	→	%	<table border="1"> <caption>元金償還額に対する新規市債発行額の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>92.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>110.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>100.0以内</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>100.0以内</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	92.9	-	H27	110.7	-	H31	-	100.0以内	H36	-	100.0以内
年度	実績値	目標値																
当初値	92.9	-																
H27	110.7	-																
H31	-	100.0以内																
H36	-	100.0以内																

推進項目Ⅱ 自主財源の確保

取組名			主な取組内容															
収納率向上対策 (市税)			コンビニエンスストア収納拡大（軽自動車税に加え，市県民税など27年度分から9科目に拡大）を実施しました。  27年4月からコンビニエンスストア収納を実施しました。															
収納率向上対策 (国民健康保険税)																		
収納率向上対策 (保育料)																		
収納率向上対策 (住宅使用料)																		
未利用財産の有効活用			未利用市有地，保留地の売却処分，貸付等の業務のほか，大規模画地の処分に向けて，関係団体等からの情報収集や営業活動を行いました。															
使用料・手数料の見直し			使用料については，適正な受益者負担に主眼を置いた見直しの検討を全庁的に実施し，見直し方針及び時期等について決定しました。															
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
収納率(市税)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(市税)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>94.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>95.9</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>96.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>98.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	94.3	-	H27	95.9	-	H31	-	96.0	H36	-	98.0
年度	実績値	目標値																
当初値	94.3	-																
H27	95.9	-																
H31	-	96.0																
H36	-	98.0																
収納率(国民健康保険税)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(国民健康保険税)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>86.6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>88.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>89.5</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>92.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	86.6	-	H27	88.5	-	H31	-	89.5	H36	-	92.0
年度	実績値	目標値																
当初値	86.6	-																
H27	88.5	-																
H31	-	89.5																
H36	-	92.0																
収納率(保育料)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(保育料)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>92.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>92.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>95.8</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>97.7</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	92.0	-	H27	92.0	-	H31	-	95.8	H36	-	97.7
年度	実績値	目標値																
当初値	92.0	-																
H27	92.0	-																
H31	-	95.8																
H36	-	97.7																
収納率(住宅使用料)	↑	%	<table border="1"> <caption>収納率(住宅使用料)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>73.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>83.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>75.5</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>78.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	73.0	-	H27	83.3	-	H31	-	75.5	H36	-	78.0
年度	実績値	目標値																
当初値	73.0	-																
H27	83.3	-																
H31	-	75.5																
H36	-	78.0																
未利用財産の処分・活用額(5年ごとの累計額)	→	百万円	<table border="1"> <caption>未利用財産の処分・活用額(5年ごとの累計額)の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>3,282</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>3,355</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>1,870</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>1,620</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	3,282	-	H27	3,355	-	H31	-	1,870	H36	-	1,620
年度	実績値	目標値																
当初値	3,282	-																
H27	3,355	-																
H31	-	1,870																
H36	-	1,620																

推進項目Ⅲ 出資等法人の健全経営の確保			
取組名		主な取組内容	
経営状況調査の実施・公表		市の出資等割合が法人の出資等額全体の概ね4分の1以上を占める18法人を対象に経営状況調査を実施し、取りまとめ結果を市ホームページで公表しました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
繰越損益(正味財産期末残高)の赤字団体数	↓	団体	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

推進項目Ⅳ 地方公営企業の経営の効率化及び健全化			
取組名		主な取組内容	
水道事業基本計画の推進		水道料金の見直しを行った先進事業者による研修会を開催するなど、安定した財源確保と負担の公平性を考慮した適正な料金水準についての検討を進めました。	
下水道事業の経営計画の推進		28年3月に、公共下水道のほか農業集落排水施設や浄化槽整備による汚水処理の今後の方向性を示す「盛岡市汚水処理基本計画」を策定しました。	
病院事業の経営改善計画の推進		「盛岡市立病院第3次経営改善計画」に基づき、地域包括ケア病棟の増床を図るなど、高齢社会で求められる役割に対応し、他医療機関との連携のもと地域医療を推進するなどの取組を行いました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
純資本利益率(上水道)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
自己資本構成比率(上水道)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
経費回収率(下水道)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
純損益(病院)	↑	百万円	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>
経常収支比率(病院)	↑	%	<p>当初値 H27 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p>

## 方針4 信頼される市政の確立

組織目標の着実な達成を可能とする組織力の向上を中心とした組織マネジメントを推進するなど、持続可能なまちづくりを支えるとともに、公務員としての資質の向上及び公務員倫理に関する意識の高揚を図るなど、職員の公正な職務の遂行を徹底し、市民に信頼される市政の確立に努めました。

### ■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 組織・人事の適正化																		
取組名		主な取組内容																
組織機構の見直し		重要課題への取組として、企画調整課内に都市戦略室を設置したほか、県央ブロックごみ・し尿処理広域化に向けた体制整備として、廃棄物対策課内にごみ処理広域化推進室を設置するなど、新たな行政課題や市民ニーズに対応した組織機構の見直しを行いました。																
定員の適正化		組織統合や事務の効率化、民間委託等の推進による定数削減に取り組んだほか、国体開催に向けた組織体制の整備や、被災自治体支援のための職員派遣に係る体制整備などのため、必要な職員を配置しました。																
職員給与の適正化		国、県及び他地方公共団体の動向等を踏まえながら、職員の給与改定を行い、市民の理解が得られる適正な職員給与となるよう努めました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
市民千人当たりの職員数 (一般行政職)	↓	人	<table border="1"> <caption>市民千人当たりの職員数 (一般行政職) の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>3.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>4.0</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>3.7</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>3.6</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	3.8	-	H27	4.0	-	H31	-	3.7	H36	-	3.6
年度	実績値	目標値																
当初値	3.8	-																
H27	4.0	-																
H31	-	3.7																
H36	-	3.6																

推進項目Ⅱ 職員人材育成の推進																		
取組名		主な取組内容																
「人を活かす人事システム」の運用		地方公務員法の改正に伴う人事評価制度の見直しについて、28年4月の実施に向け、職員研修や説明会を開催するとともに、試行を8月から開始しました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
研修参加率	↑	%	<table border="1"> <caption>研修参加率の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>83.8</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>87.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>87.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>90.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	83.8	-	H27	87.4	-	H31	-	87.0	H36	-	90.0
年度	実績値	目標値																
当初値	83.8	-																
H27	87.4	-																
H31	-	87.0																
H36	-	90.0																
研修内容が有益だと感じた職員の割合*	↑	%	<table border="1"> <caption>研修内容が有益だと感じた職員の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>98.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>97.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値	目標値	当初値	98.7	-	H27	97.7	-	H31	-	100.0	H36	-	100.0
年度	実績値	目標値																
当初値	98.7	-																
H27	97.7	-																
H31	-	100.0																
H36	-	100.0																

\* 27年度から新しく設定した指標です。当初値は27年度の実績値としています。

推進項目Ⅲ 公正な行政事務の確保																		
取組名		主な取組内容																
公務員倫理，法令遵守及び公正な職務執行に関する職員の意識の徹底		新採用職員，中級職員，管理職等をそれぞれ対象としたコンプライアンス研修を実施したほか，月1回以上の職場におけるサービスミーティングを実施しました。																
内部監査の充実・強化		監査専門員の任用を引き続き行い，特にも，企業会計の決算審査意見書については公認会計士としての視点での助言も参考とし作成しました。また，定期監査においては，5つの重点項目を中心に優先度を勘案した監査を実施しました。																
外部監査の活用		「補助金等に関する事務の執行について」を監査テーマとして実施し，監査結果及び意見に対して措置計画を策定しました。また，過去に策定した措置計画に基づき措置を講ずるなど，行政経営の効率化に努めました。																
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移															
まちづくり評価アンケート調査「市の職員は責任を持って公正に仕事をしている」と答えた市民の割合	↑	%	<table border="1"> <caption>指標1: 市民の責任感に関するアンケート結果</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>49.2</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>49.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>60.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>70.0</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	49.2	-	H27	49.7	-	H31	-	60.0	H36	-	70.0
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																
当初値	49.2	-																
H27	49.7	-																
H31	-	60.0																
H36	-	70.0																
包括外部監査結果に対する措置計画に基づいて措置した割合(過去5年間に)	↑	%	<table border="1"> <caption>指標2: 外部監査結果に基づく措置の実施割合</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初値</td> <td>92.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>87.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H31</td> <td>-</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>H36</td> <td>-</td> <td>95.5</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績値 (%)	目標値 (%)	当初値	92.5	-	H27	87.3	-	H31	-	94.0	H36	-	95.5
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																
当初値	92.5	-																
H27	87.3	-																
H31	-	94.0																
H36	-	95.5																



## 方針5 自律した経営の推進

他の自治体との連携や相互協力のもとに、自律した経営を推進しました。

### ■ 主な取組、指標の状況

推進項目Ⅰ 地方分権の推進			
取組名		主な取組内容	
権限移譲の推進		高等学校就学支援金の支給に関する法律・施行規則に係る受給資格に認定等の事務等について権限移譲を受けました。また、全国市長会等を通じて、要望活動等を行いました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
平成23年度以降の国・県からの移譲事務数	↑	件	<p>当初値 77 H27 80 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(97) H36目標値(117)</p>

推進項目Ⅱ 他の自治体との連携の推進			
取組名		主な取組内容	
自治体連携の推進		連携市町と連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結するとともに、「みちのく盛岡広域連携都市圏ビジョン」を策定しました。	
指標	性格	単位	目標値・実績値の推移
自治体連携により新たな課題に取り組むため協議会等の設置数	↑	件	<p>当初値 2 H27 1 H28 H29 H30 H31 H32 H33 H34 H35 H36</p> <p>H31目標値(7) H36目標値(12)</p>